

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博を契機とした地域への経済波及効果と観光誘客の取り組みとして、9月に韓国船社をお招きし、実務者協議及び寄港地視察を実施した（9月9日～9月12日）。

【実施成果】

- 今後の寄港にもつながる有意義な協議、寄港地案内ができた。
クルーズ乗客数 令和6年 外国人：4,189人、日本人：7,812人
令和7年 外国人：8,318人、日本人：1,520人（万博閉幕時点）

※船社等からの聞き取りによるもので、実数とは異なる

実施主体

舞鶴市

【問い合わせ窓口】みなと振興・国際交流課・観光振興課

実施場所

舞鶴市ほか京都府北部5市2町等

実施時期

令和6年～7年

関連HP

—

その他

—



万博後の取組

日韓国際フェリーの定期就航を視野に今後も継続した協議を実施し、航路就航を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「舞鶴かまぼこ工房」で、最高品質の魚のすり身を使い、独自の2段蒸しによるプリッとした食感人が気のかまぼこ作り体験を実施。アツアツの平てん、焼きたてちくわとともに、自分流のかまぼこ作りを楽しむことができる。

【実施成果】

- 蒸し立てかまぼこの試食は本体験のみの体験であり、好評を得ている
令和6年度795人、令和7年度（4～10月）173人

実施主体

舞鶴かまぼこ協同組合

【問い合わせ窓口】 舞鶴観光協会

実施場所

舞鶴かまぼこ工房



実施時期

通年(12月10日～1月10日
は休館日)

関連HP

<https://maizuru-kanko.net/archives/experience/1338>

その他

—

万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツの提供により、国内外の観光客の満足向上に努め、来訪を促す

海軍ゆかりの港めぐり遊覧船

観光

舞鶴市

実施概要及び成果

【実施概要】

- 舞鶴に来たら外せない人気スポット！海上自衛隊、北吸係留所も遊覧船から見る事ができる所要時間約35分のコースを運航

【実施成果】

- 護衛艦の真横を航行するコースは舞鶴ならではの、大変好評を得ている。
令和6年度49,147人、令和7年度（4～10月）40,117人

実施主体

(有) 舞鶴港遊覧船
(一財) 舞鶴交通安全協会

【問い合わせ窓口】 舞鶴観光協会

実施場所

赤れんがパーク内遊覧船乗り場

実施時期

3月中旬～12月末

関連HP

<http://maizuru-kanko.net/recommend/cruise>

その他

—

万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツの提供により、国内外の観光客の満足向上に努め、来訪を促す



舞鶴赤れんがガイドツアー

舞鶴市

観光

実施概要及び成果

【実施概要】

- 限定公開！非公開施設（重要文化財）に入れるツアー
普段は入ることができない重要文化財の施設をガイド付きで見学できるツアーを実施。

【実施成果】

- 非公開施設をめぐる限定ツアーの実施は好評を得ている
令和6年度774人、令和7年度（4～10月）426人

実施主体

舞鶴観光協会

【問い合わせ窓口】 舞鶴観光協会

実施場所

赤れんが博物館 受付カウンター発着

実施時期

3月中旬～7月中旬

関連HP

<https://maizuru-kanko.net/archives/experience/278>

その他

—



万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツの提供により、国内外の観光客の満足向上に努め、来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「赤れんがパークと海軍食」を活用した旅行商品の開発及び多言語サインの設置による案内機能を充実

【実施成果】

- モニターツアー（台湾人、中国人等5人参加）
- 音声ガイドデータの作成（2言語13箇所）
- 赤れんがパーク多言語サインの制作（2箇所）

実施主体

舞鶴市

実施場所

舞鶴市

実施時期

令和7年4月から順次運用開始

関連HP

<https://maizuru-kanko.net/>

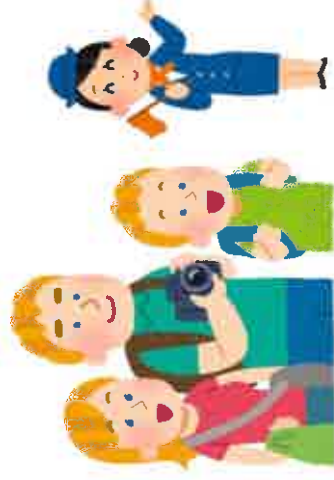
その他

—

万博後の取組

新規開発コンテンツの商品化により、インバウンド向け認知度向上・誘客促進及び国内観光客の誘客を図る

【問い合わせ窓口】舞鶴市観光振興課



旅行商品の造成



多言語サインの設置

概要

【実施概要】

- 戦後・海外引揚開始80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年という大きな節目を迎え、「舞鶴引揚記念館」で収蔵する世界的重要な資料の公開や中高校生を中心とした「学生語り部」が次世代による継承事業を実施

【実施成果】

事業を通して、次世代への継承の推進を実施

- 企画展(6年度年4回、7年度10月末までに2回 来場者数計 91,477人)、
- 無料公開イベント(6年度5月・10月、7年度5月、8月、10月 来場者数計 4,866人)
- 平和未来ワークショップ (令和7年7月 中～大学生70人、一般30人)

実施主体	舞鶴市	【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館
実施場所	舞鶴市(舞鶴引揚記念館ほか)	
実施時期	令和6年～7年	
関連HP	m-hikiage-museum.jp	
その他	—	



万博後の取組

国内外の博物館や都市ともさらなるネットワークを広げ、国際ブランドの向上に取り組む

実施概要及び成果

【実施概要】

- 引き揚げ当時の時代背景や展示資料に込められた想い、また、「引き揚げ」や「シベリア抑留」の史実とあわせて、あたたかく引揚者を迎えたまちの歴史を語り継ぎ、より充実した継承事業を行うため「語り部」を養成。

【実施成果】

- 語り部の養成により、おもてなし力の向上を図った。令和6年度22人（修了生21人）

実施主体

舞鶴引揚記念館

【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館

実施場所

舞鶴引揚記念館



実施時期

12月～2月

関連HP

<https://m-hikiage-museum.jp/index.html>

その他

—

万博後の取組

「語り部」を養成することで、おもてなし力の向上を図り、国内外の観光客の来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 土日祝日限定で、「NPO法人舞鶴語りの会」による館内を一緒に回る「語り部ツアー」を実施。
時間は午前11時～、午後1時30分～の1日2回。

【実施成果】

- ツアーの認知が向上し、大変好評を得ている。
令和6年度123回、令和7年度（4～10月）75回

実施主体

舞鶴引揚記念館

【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館

実施場所

舞鶴引揚記念館



実施時期

通年(土日祝日限定)

関連HP

<https://m-hikiage-museum.jp/index.html>

その他

—

万博後の取組

舞鶴引揚記念館ならではの体験コンテンツを提供し、国内外の観光客の来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 引揚記念館では、引き揚げとシベリア抑留の史実を通して、悲慘さの中にある当時の人々の希望や他者への思いやりを感じることによって、現代の私たちが「実感」を持って平和の尊さを学ぶ平和学習を実施。

【実施成果】

- 語り部付きのグループ別見学が大変好評であり、引揚の史実理解に貢献している。
令和6年度33校1981人、令和7年度（4～10月）22校1649人

実施主体

舞鶴引揚記念館

【問い合わせ窓口】 舞鶴引揚記念館

実施場所

舞鶴引揚記念館

実施時期

通年

関連HP

<https://m-hikiage-museum.jp/index.html>

その他

—



万博後の取組

舞鶴市ならではの体験コンテンツを提供し、子どもたちの来訪を促す

実施概要及び成果

【実施概要】

- 二度の万博出展に製品や素材を持っていた。また、随時黒谷和紙の紙漉き体験を行った。
- ・6月23日～6月29日 関西パビリオン京都ブースに出展
- ・10月4日 関西パビリオン京都ブースに一部出展「今日の京都～市町村職員が日替わりでおすすめを紹介～」

【実施成果】

- 6月23日～6月29日万博出展
- 10月4日万博（一部）出展
- 万博期間中の和紙漉き体験（来館者数：1,346人（前年度比19人増） 体験者数：226人（前年度比48人減）

実施主体

黒谷和紙協同組合

【問い合わせ窓口】黒谷和紙協同組合

実施場所

黒谷和紙会館

実施時期

3月～11月

関連HP

<https://kurotaniwashi.kyoto/>

その他

7日前までに事前申し込み要

万博後の取組

万博を契機に、黒谷和紙を周知することができた。
今後は、黒谷和紙のPRを市内外問わず積極的にを行い、次世代への継承につなげたい。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 第3回目を迎える「あやべ水源の里トレイルラン」を開催。アスリートだけでなく自然愛好者など多くの参加者をお迎えし、水源の里集落の住人とふれあい、日本の原風景に近い自然の織り成す雄大な美しい景観に触れながら、現地ならではの暮らしや文化に理解を深めた。（開催日：令和7年4月6日）

【実施成果】

- 出走者数：788人
- 会場では地元の特産品の販売や、地元の方によるエイド等のおもてなしを行い、RUNNETの大会ランキング（トレイルラン）において第1位の高評価を得た

実施主体

FunTrails合同会社

【問い合わせ窓口】綾部市観光交流課

実施場所

綾部睦寄町他

実施時期

令和7年4月6日（日）

関連HP

<https://fun-trails.com/race/ayabe/>

その他

—

万博後の取組

地元の方の協力もあり、大会ランキング1位を獲得できた。今後も水源の里への理解や自然に親しめるスポーツとして広域的な誘客に努め、スポーツを機会とした関係人口の拡大につなげたい。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 農家民宿を通じて得られる、自然での学びや農村での生活の知恵、歴史ある伝統文化などを、通年実施して伝えた。また、万博を契機とした商談会などでPRした。
- ・7月11日 オンライン ・9月12日 オンライン ・9月25日～26日 Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
- また、e-bikeを使って綾部市を巡るツアーのモデルコースと、イメージ動画を作成した。

【実施成果】

- 7月11日 5社と商談を行った ・9月12日 4社と商談を行った ・9月26日27日 20件の商談を行った ・FAMトリップに繋がった。
- モデルコースや動画を万博内外で広報に使用した。 E-bike利用者数：19人（前年度比6人減）

実施主体

綾部農泊推進地域協議会

【問い合わせ窓口】ゲストハウス クチュール
(協議会事務局)

実施場所

綾部市内

実施時期

通年実施

関連HP

<https://www.kyoto.ayab-enouhaku.com/>

その他

- ・一部の農家民宿において外国語対応可 ・予約時においてベーガン料理や外国人対応も可
- ・万博へ訪れた方への希望に合ったオーダープログラムも対応

万博後の取組

商談会を経て、綾部の農泊の魅力は確かなものであると確信した。特に、近年の京都市内のオーバーツーリズムの影響で、郊外の需要の高まりを感じた。一方で、全ての農家民宿で外国語対応・ベーガン料理対応ができるわけではないこと、市内の案内看板が観光客目線では不親切なことが課題としてあった。



～天職観光～ 自分の活躍の場を見つける 「綾部里山交流大学」講座

観光

綾部市

実施概要及び成果

【実施概要】

- 半農半Xの発祥の地である綾部の講座を通して、田舎暮らしの原点を学ぶことのできる里山交流大学を実施。
- （7月15日第1部オンライン・第2部全国町村会館（東京都千代田区永田町））
- 第1部ではオンラインでマイファーム代表・西辻一真氏と綾部市出身の半農半X提唱者・塩見直紀氏のセミナーを行った。
- 第2部では東京で、綾部市長と塩見直紀氏の対談を行った。

【実施成果】

- 来場実績…第1部（オンライン）48人 第2部（東京）10人
- セミナー終了後、参加者から半農半X塩見直紀氏との連携依頼があるなど、つながりができた。

実施主体

綾部里山交流大学

【問い合わせ窓口】NPO法人里山ねっと・あやべ

実施場所

綾部市内



実施時期

通年実施

関連HP

<https://ayabesatoyamacollege.net/wp/>

その他

- ・一部の講座において外国語対応可

万博後の取組

東京での開催により、これまで綾部市を知らなかった人にも周知することができた。しかし、参加者が想定より少なかった。今後、も里山交流大学を定期的に都市部で開催し、綾部市の魅力のPRに努める。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 茶づな、市営茶室対鳳庵、匠の館、市内の茶園など、数ある市内の茶の関連施設で、覆下茶園での手摘み体験や製茶体験、玉露の淹れ方・抹茶の点て方講座など宇治のお茶文化を余すことなく体験できる市内の施設やイベントについて宇治市公式ホームページにて一元的に紹介

【実施成果】

- 宇治市内で体験できるお茶関連の情報や体験ルートの例を、宇治市公式ホームページで一元的に紹介することで、情報へのアクセスが容易になり、来訪意欲の向上につながったと考える。

実施主体

宇治市

【問い合わせ窓口】 宇治市農林茶業課

実施場所

茶づな、市営茶室対鳳庵、宇治市内の茶園など

実施時期

万博会期中

関連HP

<https://www.city.uji.kyoto.jp/site/uji-cha/85199.html>

その他

外国語対応

万博後の取組

「宇治茶の伝統と文化」の継承と「宇治茶ブランド」のさらなる発展のため、関西万博をきっかけとして、「宇治茶ファン」を増やし、世界に向けて販路拡大を図る。また、今回の取組を契機に、より一層効果的な情報発信に向け、内容の精査や発信手段の最適化を検討し、さらに、今後、近畿圏内や遠方におけるPR活動においては、QRコード等で当ページを周知するなど、宇治市への誘客のツールとして活用し、引き続き、お茶の文化、伝統、体験など、宇治市のお茶の魅力を広くPRしていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

源氏物語の世界観を始め様々な文化・歴史の魅力を伝える取組及び「紫式部ゆかりのまち宇治」の魅力発信を推進

- 源氏ろまん事業として、宇治田楽まつり（奉納曜：9月7日、本舞台：10月18日）や、宇治十帖スタンプラリー（10月1日～11月30日）等を実施 ※閉幕後も継続実施中
- 今ある宇治の魅力を発信し、宇治の文化を未来へつなぐ「宇治アートプロジェクト」の取組として、合同作品「屏風」の市内巡回展示（5月20日～25日：源氏物語ミュージアム 他）をはじめとする情報発信等を実施 ※閉幕後も継続実施中

【実施成果】

- 万博会期中～閉幕後も継続して実施中のため、実績等は未確定

実施主体

宇治市・宇治市教育委員会
宇治田楽まつり実行委員会

【問い合わせ窓口】 宇治市文化スポーツ課

実施場所

市内各所



実施時期

万博会期中

関連HP

<https://www.city.uji.kyoto.jp/site/bunkakatsudou/6425.html>

その他

宇治市ホームページ等において外国語への対応を実施

万博後の取組

- ・ 万博後も継続して、宇治の文化・歴史を次世代へ継承するとともに、外国語対応も視野に入れた国内外へ魅力を発信する事業を実施することにより、『うじ』の文化の魅力を世界に向けて発信し、魅力あるまちづくりに取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 市内在住の小学5・6年生とその保護者を対象に、10組20名の参加者で3回にわたりツアーを実施する
- ▶ 大阪・関西万博で脱炭素に関連する施設を見学し、先進的なカーボンニュートラルについて学ぶ
- ▶ ツアーを通して参加者が、環境問題を自ら考え、環境にやさしい行動を実践できるようになることを目的とする

【実施成果】

- ▶ 30組60名が参加
- ▶ 大阪・関西万博では「循環」をテーマとする日本館を見学し、万博会場で出たごみが分解・再資源化される過程などを学ぶことで、参加者がカーボンニュートラルへの理解を深めることができた。
- ▶ 脱炭素に関する専門講師が全行程に同行し、会場内外での解説や対話を通じて、参加者の環境意識の向上を図ることができた。

実施主体

宇治市

【問い合わせ窓口】
宇治市環境企画課

実施場所

大阪・関西万博 日本館など

実施時期

9月14日、20日、21日

関連HP

-

その他

-

万博後の取組

- ▶ 環境問題を「自分ごと」として捉え日常生活の中で実践していくには、継続的な学びの機会や体験の場が引き続き必要であると感じられた。
- ▶ 今後も「親子で学ぶゼロカーボンツアー」の継続的な実施を検討するとともに、「宇治環境フェスタ」などの市民参加型イベントを通じて、より広く環境意識の向上を図る広報・啓発活動に取り組んでいく。



実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 宇治市と宇治市地球温暖化パートナーシップ会議（ecoット宇治）の共催によりイベントを開催
- ▶ 行政・教育機関、事業者等が環境関連の取り組みを紹介するブースを出展し、来場者の環境意識向上を目的として実施
- ▶ 親子で学ぶゼロカーボンツアー（目的地：大阪・関西万博）の活動記録を展示する専用ブースを設置

【実施成果】

- ▶ イベント来場者数：580名
- ▶ 親子で学ぶゼロカーボンツアー参加者の学習内容や活動写真等を展示
- ▶ ツアー参加者の学びを広く共有し、来場者に対してカーボンニュートラル等に関する理解促進と環境意識の向上を図ることができた

実施主体

宇治市、宇治市地球温暖化パートナーシップ会議（ecoット宇治）

実施場所

宇治市生涯学習センター

実施時期

11月23日

関連HP

-

その他

-

万博後の取組

- ▶ 環境フェスタにおいて親子で学ぶゼロカーボンツアーのブースを設置することで、ツアー参加者のみならず子どもから大人まで幅広い層の来場者に展示を見ていただき、理解を深めていただくことができた。
- ▶ 今後も親子で学ぶゼロカーボンツアーの継続的な実施を検討するとともに、宇治市環境フェスタなどの市民参加型イベントを通してより広く環境意識の向上を図る。

【問い合わせ窓口】

宇治市環境企画課



宇治市内のものづくりの魅力にふれるオープンファクトリーツアー等

宇治市

実施概要及び成果

【実施概要】

- ものづくり体験や工場見学などを通じて宇治市内のものづくり企業の魅力を発信
- ①市内大型店舗での市内企業のものづくり体験（参加企業数：延べ10社）
- ②宇治市産業振興センターでのものづくり体験（参加企業数：10社）及び近隣企業の工場見学（参加企業数：10社）
- ③インテックス大阪で開催された「未来モノづくり国際EXPO2025」へ合同企業出展

【実施成果】

- ①約150人が参加。普段できない体験を通じて、ものづくりの魅力をPRできた
- ②約300人が参加。日常生活で接することができない工場を見学することで、市内ものづくり企業を身近に感じていただけた
- ③4社出展、製品説明件数約900件。幅広い層に対し、出展の企業の技術や製品の周知に加え、市内産業のPRが行えた

実施主体

宇治市・デザインウィーク京都 他

【問い合わせ窓口】 宇治市産業振興課

実施場所

市内各工場・工房 他

実施時期

4月26日、7月16日～19日、7月31日

関連HP

-

そ の 他

-

万博後の取組

取組を通じて、ものづくりの魅力を広く発信できたこと、参加企業同士の連携が深まったことから、国内外へのPRを意識した工場見学やものづくり体験、合同出展等の取組を継続して実施していきたい。



実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 宇治川の鵜飼 (①)
- ▶ トレインマーケット宇治の開催 (②)
- ▶ 親子で天ヶ瀬ダム探検ツアー (③)

【実施成果】

- ▶ ① 宇治の夏の風物詩宇治川の鵜飼。広報にも力を入れ集客を図ったことで、伝統的文化の伝承や保存、周知ができた。(乗船者数：2,503人(令和6年)、3,418人(令和7年))
- ▶ ② 京阪宇治駅のホームに列車を停車させ、淀川沿線自治体の特産品等を列車内で販売することで、広域的な観光PRを実施できた。(来場者数：3,387人)
- ▶ ③ 普段は体験することができない天ヶ瀬ダムのキャットウォーク散策や点検放流を見学し、市街地から徒歩圏内にある天ヶ瀬ダムの壮大さと宇治川の自然豊かな景色を親子で楽しみながら学ぶ機会を創出した。(参加人数：32人)

実施主体

宇治市、観光協会、連携団体・企業

実施場所

天ヶ瀬ダムから宇治橋間を中心とした宇治川流域

実施時期

随時

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

様々な観光資源を活かし、宇治ならではの体験を提供することができた。一方、インバウンドへの多言語対応や、天ヶ瀬ダムまでの交通手段、告知方法など様々な課題もある。

これらの課題に向き合いながら、引き続きプレミアムな体験を提供していく。



【問い合わせ窓口】宇治市観光振興課

実施概要及び成果

【実施概要】大阪・関西万博の各サブテーマに沿ったイベント等をカウントダウン形式で実施。機運醸成を図った。

- 万博250日前イベント [Saving Lives (いのちを救う)] [Empowering Lives (いのちを力を与える)] (①)
- 大阪・関西万博開催半年前機運醸成イベント「京都イロドリEXPO」という「観光ブース」出展 (令和6年10月12日) (②)
- 万博150日前イベント [Connecting Lives (いのちをつなぐ)] [Saving Lives (いのちを救う)] (③)
- 万博30日前イベント [Saving Lives (いのちを救う)] (④)

【実施成果】

- ① ➤ 天橋立砂浜のライトアップ (令和6年7月6日～10月14日) ⇒ 実施支援
- みやづBay花火 (令和6年7月14日～9月21日の土日祝日等 20:30から5分間計75発又は20:00から7分間計100発の花火を打ち上げ延9回実施) ⇒ 実施支援
- 特務艇「はだて」の寄港 (令和6年7月27日～7月28日) ⇒ 5年ぶり2回目の寄港
- ② 宮津市出展ブースに約300名が来場
- ③ ➤ 日本遺産北前船フォーラム＆北前船舶物産展 (令和6年10月20日) ⇒ 実施支援
- 歴史資料館 特別開館＆企画展示「宮津城下町と北前船」(令和6年10月20日～11月24日) ⇒ 期間中448名来場
- 宮津市街地ライトアップ (和火) (実行委員会協議の結果、令和6年度未実施)、成相寺ライトアップ (令和6年11月16日～11月17日) ⇒ 実施支援
- ④ ➤ 万博スペシャルサポーター 帆船「BLUE OCEAN みらいへ」の寄港 (令和7年3月8日～3月9日) ⇒ 宮津市民限定体験航海で58名のお客様が体験
- 宮津田井海まちフェスタ (SDGsフェスタと同時開催) (令和7年3月9日) ⇒ 800名が来場 浜町会場～田井会場間に汽船の特別運航を行い、252名乗船

【問い合わせ窓口】宮津市産業経済部観光係

実施主体	宮津市ほか
実施場所	宮津市内ほか
実施時期	①7～9月頃 ②10月12日(土) ③10～11月頃 ④3月頃
関連HP	—
その他	—

万博後の取組

令和7年度の大阪・関西万博開催に向け、プレイベント等を実施することにより、市民や観光客の機運を醸成することができた。
万博会場において本市の魅力をしっかりPRし、万博終了後は、より多くの人にピーターや新たなファンになってもらえるよう、万博レガシーを地域に残していく必要がある。



ようこそ「宮津天橋立」キャンペーン

宮津市

観光

実施概要及び成果

【実施概要】

- 7月初旬より、ようこそ「宮津天橋立」キャンペーンを万博開会の10月中旬まで開催し、交流人口の創出を目指した。
- 市内各種イベントを可能な限り万博実施期間中に集約し、土日祝の市内の盛り上がりを演出することで、顧客満足度の向上と滞在時間の延長を図った。

【実施成果】

- 天橋立まち灯り「砂浜ライトアップ（令和7年7月5日～9月23日）、みやびBAY花火（令和7年7月19日～8月9日の土日祝日等 20:30から55分間計75発 又は7分間計100発の花火を打ち上げ 延8回実施）」⇒ 実施支援
- 阿蘇海フェスタ（令和7年7月13日）⇒ 開催場所の府中地区公民館に300名が来場
- 宮津燈籠流し花火大会（令和7年8月16日）⇒ 実施支援
- 周遊スタンプラリーの実施 ⇒ システム構築の遅延で期間内未実施
- 学生レストラン in 宮津天橋立（令和7年8月29日～8月31日）⇒ 61名が参加
- 歴史の館特別開館（令和7年8月9日～8月29日）⇒ 63名が来場
- 丹鉄10周年感謝祭（令和7年9月6日）⇒ みやび歴史の館に730名が参加
- 第34回天橋立ツアーウォーク（令和7年9月27日～28日）⇒ 2日間で891名が参加
- 第5回宮津田井海まちフェスタ（令和7年10月5日）⇒ 300名が来場。宮津棧橋・天橋立棧橋～田井会場間に汽船の特別運航を行い、93名乗船
- みやびSDGsフェスタ ⇒ 実施時期を変更し、現状未実施 ①宮津市海洋釣り場こども海釣り体験会（令和7年7月21日）⇒ 105名が参加

実施主体

宮津市ほか

実施場所

宮津市内

実施時期

7月初旬～10月中旬

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

万博期間中に多様なイベントを展開し市内の賑わい創出に寄与した一方、万博来場者の地方誘客は想定ほど伸びず来訪拡大には課題が残った。今後は万博で高まった本市の認知度を基盤に、効果的なPRや地域イベントとの連動を強化し、滞在時間の延長や観光消費の拡大につなげていくとともに、観光から移住への誘導に取り組んでいく。



【問い合わせ窓口】宮津市産業経済部商工観光課観光係

「股のぞき☆一龍万倍」体験

観光

宮津市

実施概要及び成果

【実施概要】

- 宮津市の天橋立には龍にまつわる伝説が多く残っている。龍の姿そのものにも例えられる神秘的な天橋立だが、股の間からさかさまな景色をのぞくと、まるで龍が空を舞っているかのように見えることから、縁起の良い景色として知られている。「股のぞき☆一龍万倍」体験は古くから象徴される、天に昇った龍が如意宝珠（意のままに願いを叶える玉）を授かり降臨する姿「昇龍・降龍」にちなんだ体験。天橋立傘松公園または天橋立ビューランドの展望所で自分の叶えたいお願いに合った「龍の願い玉」を6種類の中から選んで購入頂き、具体的なお願い事を「願い用紙」に記載し、「龍の願い玉」を手持ちながら股のぞきをして、龍が舞っているような景色からパワーを頂いた後、歴史・文化に裏付けされた寺社仏閣（智恩寺または元伊勢龍神社または成相寺）へ奉納をすることで、宮津市の歴史文化を感じながら開運体験ができるプログラム。

【実施成果】

- 4月～9月期間の龍の願い玉の販売個数について、前年度は1,560個であったが、今年度は876個と前年度比でほぼ半減の結果となった。

実施主体

宮津市ほか

【問い合わせ窓口】宮津市産業経済部商工観光課観光係

実施場所

宮津市内



実施時期

通年実施中

関連HP

<https://matanozoki.jp/>

その他

-

万博後の取組

「リアル桃太郎電鉄～ほんまの京都・万博編～」などの周遊施策による増加効果は見込まれたものの、万博来場者の地方誘客には寄与できなかったと認識。今後はより一層の情報発信を行い、「天橋立は開運を導いてくれる場所」であるという、「股のぞき」+αの価値を提供するブランディングを地域一体で図っていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- かめおか霧の芸術祭はアートイベントではなく、地域の「課題解決」をテーマとする通年の活動。
- アーティストだけでなく自治会や農家、学生、事業者など、地域に関わる様々な人々が協働し、環境・農業・観光など多分野に従来の行政手法とは異なるアプローチで取り組み、アートの力を活用した魅力あるまちづくりを推進している。

【実施成果】

- 実施事業数（4月～10月13日）： 6事業
- 参加者数（4月～10月13日）： 4,775人

実施主体

かめおか霧の芸術祭実行委員会

【問い合わせ窓口】 亀岡市文化芸術課

実施場所

亀岡市内



実施時期

通年

関連HP

<https://kameoka-kiri.jp/>

その他

—

万博後の取組

万博期間中に子どもから大人まで幅広い年代の方に参加してもらえるイベント6事業を実施した。いずれも地域資源を生かし、世代や分野を超えた交流を促す機会となった。一方で、広報手段の工夫や効果的な集客が今後の課題として挙げられる。今後は、より多くの人に興味関心を持ってもらえるよう発信力を高め、地域に根ざした持続的で、魅力あるアート企画を実施することで芸術文化の展開を目指していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 環境への取組を広めるため、亀岡の観光資源である保津川下りをしながら、川ごみの現状を知ってもらい環境学習をしてもらう取組を実施している。
- 万博を契機にこれらの取組を世界へ発信し、持続可能な未来を共創する意識の醸成を図る。

【実施成果】

- エコナ川下り利用者数：令和7年4月～10月 101名（保津川下り 83名、ラフティング 18名）
- 環境学習により、海ごみ発生抑制のためには内陸部からの取り組みが重要であることを働きかけることができた。

実施主体

亀岡市・民間事業者

【問い合わせ窓口】 亀岡市環境政策課

実施場所

亀岡市内（保津川流域）



実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/soshiki/21/69349.html>

その他

—

万博後の取組

- ・国内外問わず毎年多くの観光客が保津川下りに訪れるが、当初想定していたよりもエコナ川下りの利用者が少なかった。
- ・協定を締結している旅行代理店と連携しながらエコツアーとして周知し、エコナ川下り利用者の増加を図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「KAMEOKA VIRTUAL HISTORIA」は、亀岡市文化資料館が所蔵する文化財をはじめ、市内各地の伝統芸能・祭事・風習・自然などの歴史文化資源を再現したメタバース空間。
- 参加者同士の交流を目的としたメタバース空間とは違い、クエスト型のゲームに似たストーリー性を付加することで、「学び」の要素と「遊び」の要素をかけ合わせた、“亀岡ならではの”の体験を世界に向けて提供する。

【実施成果】

- メタバースPV数：1,874回、ホームページPV数：14,331回（令和7年4月～10月13日）
- メタバース体験会の実施：66名（令和7年9月7日）

実施主体

亀岡市

【問い合わせ窓口】亀岡市文化芸術課

実施場所

オンライン



実施時期

通年

関連HP

<https://museums.city.kameoka.kyoto.jp/>

その他

ブラウザの外国語翻訳機能を使用すれば、どの言語でも対応可能

万博後の取組

メタバースを体験するための窓口となるホームページには期間中14,331回のアクセスがあり、前年同期間比30.8%増加した。一方、メタバースの体験については、アクセスの集中や端末の状態で、繋がりにくさや動作が不安定になる事象が見受けられ、体験機会を十分に提供できなかった。万博後も、継続してアクセス状況の改善やバグの修正等に取り組み、体験をきかけとした交流の創出と歴史文化の継承を実現する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 発泡スチロールの容器や使い捨て食器を使用しない、無料で給水ができるなど環境に配慮した一定条件を満たす飲食店を「リバーフレンドリーレストラン」として認定し、万博を契機に、亀岡市公式ホームページや広報誌、SNSなどの情報発信や、海の無い内陸の地域亀岡市から海洋プラスチック汚染問題に取り組む活動を継続している川と海つながり共創プロジェクトのホームページにおいて広く情報を発信することにより、消費者のエシカル消費につなげ、飲食店とその利用者が環境にやさしい行動につながる「リバーフレンドリーレストランプロジェクト」に取り組む。

【実施成果】

- ▶ リバーフレンドリーレストラン登録店舗数：24店舗（令和7年4月～10月で2店舗増加）

実施主体

亀岡市・飲食店

【問い合わせ窓口】 亀岡市環境政策課

実施場所

亀岡市内

実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/riverfriendly-mizu/>

その他



「リバーフレンドリーレストランプロジェクト」
River Friendly Restaurant Project

環境を大切に、
地域に配慮した取り組みを
実践する参加飲食店等が
「リバーフレンドリーレストラン」
に加盟しています。

飲食店で「使い捨てプラスチック」
を減らします。

万博後の取組

- ・環境に配慮した取組を実践する飲食店を認定し情報を発信することで、さらに取組の輪を広げる

日本中が美しいまちへ「エコウォーカー」プロジェクト

文化・環境

亀岡市

実施概要及び成果

【実施概要】

- ウォーキングや散歩をしながら、また、通勤・通学をしながらごみ拾いを行う、身近で気軽に自由な新感覚の清掃活動「エコウォーカー」の緩やかなネットワークを全国に広げ、日本中のまちからポイ捨てごみを無くすことを目指す。
- また、次代を担う子どもたちが将来にわたり環境を守り続ける意識を醸成することも重要だと考え、保育所等教育機関と連携したエコウォーカー活動も展開しはじめています。

【実施成果】

- エコウォーカー登録者数：令和7年4月～10月 285名、エコウォーカーキッズ登録：1機関（50名）
- 清掃活動の緩やかなネットワークの普及、環境を守り続ける意識を醸成に繋がっている。

実施主体

亀岡市

【問い合わせ窓口】 亀岡市環境政策課

実施場所

亀岡市内



実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/kankyoku/2693.html>

その他

—

万博後の取組

- ・年間の目標登録者数（500名）に向けて、想定通り登録者が増加している。
- ・ポイ捨てされているごみ拾いを始めとした、市民参加型の事業（スポGOMIなど）を実施し、環境美化の意識醸成を図る。

SDGsの取組を通じた交流による、 ビジネス機会やイノベーションの創出

産 業

亀岡市

実施概要及び成果

【実施概要】

- かめおかSDGsパートナー宣言制度のプラットフォーム化（SDGsパートナー企業を対象にした研修会や意見交換会の実施）
- 広域/官民連携によるSDGsプロジェクトチーム（京滋SDGsプロジェクト）として、京都市・大津市・京都新聞社と連携し、大阪・関西万博における地方創生SDGsブースでの取り組みパネルの展示による情報発信を行った。

【実施成果】

- パートナー企業同士の交流会 万博開催期間中の実施はないが、女性の働きやすい職場づくりなど自社でできるSDGsに関する取り組みの意見交換などにつながっている。
- かめおかSDGsパートナー宣言制度 登録団体 94社（令和7年10月31日現在）
- 地方創生SDGsブースパネル展示 5日間（令和7年5月28日～6月1日）

実施主体

亀岡市、連携企業

【問い合わせ窓口】 亀岡市企画調整課

実施場所

亀岡市内

実施時期

通年

関連HP

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/sdgs/list419-958.html>

そ の 他

—

万博後の取組

一定制度の浸透ができているものの、登録者数が鈍化傾向にあることから、更なるパートナー企業の開拓が必要。今後は、登録企業同士の交流の場をさらに増加させることで、プラットフォームとしての価値を高めていく必要がある。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和7年9月1日～10月15日の1か月半の期間で、「イチジクスタンプラリー2025」を開催
- 期間中に城陽市にある協賛店舗や施設でイチジクを使った商品を購入・飲食し、スタンプを2つ集めて応募すると、抽選で80人の方に参加店舗で使える商品券をプレゼントするもの

【実施成果】

- 協賛店舗数28店舗
- 応募件数766件 応募者数611名
- 市内からの応募件数313件、市外からの応募件数453件。市外からの応募者の割合が前年度より増加し、東京都や愛知県からも応募があった。（全体の応募件数の割合は4.5%増。1日あたりの市外からの応募件数の割合は22.6%増えた。）

実施主体

城陽市

【問い合わせ窓口】城陽市農政課・商工観光課

実施場所

城陽市内



実施時期

9月1日～10月15日

関連HP

イチジクスタンプラリー2025HP

そ の 他

英語版の「イチジクスタンプラリー2025」ホームページを作成

万博後の取組

府外は東京都や愛知県の方からご応募いただき、城陽市外からの応募者の割合が増加し、半数以上を占めるなど、市内外で「完熟イチジクのまち 京都城陽」を認知されている状況である。また、英語版HPの効果により、直売イベントにおいて、海外の方がイチジクを購入される光景が見受けられた。今後も認知度向上のため、PR活動を行っていく予定。

向日市ふるさとWeb検定

観光

向日市

実施概要及び成果

【実施概要】

市内外の方々に、歴史や自然あふれる「ふるさと向日市」の魅力に触れてもらえるよう、D Xの技術を活用した「向日市ふるさとWeb検定」を実施する。

歴史や文化など市のことを学び、おもてなし力を高めることで、万博を始めとする観光客受入れの機運を醸成する。

- 実施区分：初級、中級、上級
- 出題範囲：歴史、文化、自然、観光、産業、市政一般など

向日市に関すること全般に加え、万博に関連した問題も出題

【実施成果】

- 受検者数：初級8人、中級0人、上級0人（令和7年10月末時点）
- 合格者数：初級2人、中級0人、上級0人（令和7年10月末時点）

実施主体

向日市

【問い合わせ窓口】向日市産業振興課

実施場所

Web



実施時期

9月8日～12月21日

関連HP

向日市HP
(<https://www.city.muko.kyoto.jp/soshiki/15/13261.html>)

その他

検定合格者（中級・上級）には記念品を贈呈予定

万博後の取組

万博終了後も検定の実施期間は継続しているため、引き続きWeb検定を通じて「ふるさと向日市」の魅力発信につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 長岡京市は「京都式軟化栽培法」と呼ばれる伝統農法で手間暇かけてたけのこを育てており、京だけのこの名産地として知られている。それらのたけのこを味わえる店を網羅したマップを作成し、掲載店舗を訪れてアンケートに回答した人に抽選でプレゼントを贈る企画を実施することで、長岡京市を訪れ、楽しんでもらう動機を創出する。

【実施成果】

- ▶ 春の観光まつりに、長岡京のたけのこフェアのパンフレットを配布。約1,000部のパンフレットが完配し、多くの方へ長岡京市を知ってもらうきっかけにつながった。
- ▶ 長岡京のたけのこフェアの参加店舗による新メニューの開発や、新規の掲載店舗が増える等 事業者の自発的な取組につながった。
- ▶ Webアンケートは105件の回答があり、フェアによって長岡京市を知った層が22.9%、初めてたけのこを食べた層が38.1%といずれも前年度数値より向上しており、地域ブランドイメージを高めることにもつながった。

実施主体

長岡京市・長岡京市観光協会

【問い合わせ窓口】長岡京市商工観光課

実施場所

長岡京市内

実施時期

令和7年3月29日～5月6日

関連HP

<http://www.nagaokakyo-kankou.jp/index.html>

その他

万博後の取組

- ・Webアンケートの結果を分析すると、年代では50代が31.4%、40代が25.7%と前年度よりも40代の回答の割合が伸びる結果となったが、若年層からの回答が伸び悩んだ。アンケートの結果を元に、ターゲット毎の最適な情報発信方法の検討を行い、観光目的の地としてまちの魅力発信を行う必要がある。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 今から80年前の昭和20年7月19日に新神足村で米軍の空襲を受け、1人の犠牲者と数人の負傷者を出した。二度とこのような悲劇を繰り返さないことを誓い、平和の尊さを後世に伝えるため、平成元年に7月19日を「平和の日」と定め、毎年7月に平和を考える市民フォーラムを実施し、市民の皆様により平和について考える機会としている。

【実施成果】

- 平和フォーラム当日の参加者は延べ280人であるが、講演会では親子連れも多く参加いただいた。また、事前に募っていた「折り鶴」の献納者数は、昨年より2倍となっており、戦後80年の節目の年として、広い世代に対し平和の大切さについて考える機会を提供することができた。

実施主体

長岡京市・長岡京市教育委員会

【問い合わせ窓口】 共生社会推進課

実施場所

長岡京市立中央公民館 他



実施時期

令和7年7月19日

関連HP

<https://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000001585.html>

その他

講演会には、託児・手話通訳・要約筆記・ヒアリンググループ使用対応有

万博後の取組

戦争を体験された方が少なくなってきた中、戦争の記憶が風化し、平和が当然のように受け止められていることが課題である。今後も戦争の記憶を記録として受け継ぎ、平和の大切さについて継続した啓発活動を通じて次世代に戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていきたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

未来社会に対し、伝統・文化を見返すテーマとし、石清水八幡宮を中心に発展した八幡のまちのストーリーを、社寺を活かしたイベントやお祭の体験イベントの実施により発信

- ① 石清水八幡宮でのライトアップイベント
万博閉幕後も見据えた継続的な賑わい創出のため、国宝「石清水八幡宮」ライトアップイベントとして「鎮守の杜ナイトウォークinやわた」を開催
- ② 市内社寺などの文化財特別公開
市内社寺においてガイド協会のガイドとともに重要文化財等の特別公開を実施
- ③ 茶道をはじめとした文化体験イベント
八幡市立松花堂庭園・美術館で開催する月釜会、日曜茶席等を実施

【実施成果】

- ① 来場人数3,000人
・夜間特別解放し、ライトアップされた石清水八幡宮の境内等を散策していただくことで、市内外からの来場者に対して、本市が取組む歴史的資源を活用した文化観光まちづくりをPR
- ② 各社寺において、重要文化財を含む特別拝観・公開がガイド協会のガイドとともに実施されることで市内外からの拝観者に対して、本市の歴史文化を発信
- ③ 総参加人数 753人（月釜会 計5回 参加人数458人、日曜茶席 計6回 参加人数176人、忌茶会 1回 参加人数119人）

実施主体

- ① 鎮守の杜ナイトウォーク実行委員会（八幡市、八幡市観光協会 他）
- ② 市内社寺 ③ 松花堂庭園・美術館・松花堂月釜会

実施場所

- ① 石清水八幡宮 ② 市内社寺 ③ 松花堂庭園・美術館

実施時期

- ① 10月11日（土）～10月13日（月・祝） ② 4月下旬～5月中旬 ③ 4月中旬～10月中旬

関連HP

- ① ②（一社）八幡市観光協会HP
<https://www.kankou-yawata.org/>
- ② 八幡ストーリー & ガイド
<https://www.city.yawata.kyoto.jp/yawata-story/>
- ③ 八幡市立松花堂・庭園美術館 <https://shokado-garden-art-museum.jp>

万博後の取組

- ① 1. 境内の夜間特別解放及びライトアップを行うことで特別感を演出したことにより、一定の集客効果があり、来場者アンケートも高評価が多いことから歴史的資源を活かしたイベントの有効性を把握したが、山上でのイベントであった為、山下の店舗や市内の他の観光地等との繋がりをもたせる工夫が課題となった。
- 2. 本イベント単体のみではなく、同時開催で日中は市内の歴史文化施設等や市内店舗を知ってもらえるよう、市内を周遊してもらえらるイベントやコンテンツの造成等の実施を検討する必要があると考えており、市内民間事業者とも連携しつつ、関係人口を創出することが必要。
- ② 1. 各社寺でそれぞれ特別公開等を行っている為、各社寺の特別公開情報等の歴史文化を活かした事業の周知方法について検討が必要。
- 2. 秋には市内社寺等による文化財一斉公開を行っている為、一元的に情報発信が行われている為、それに準じた情報発信の検討が必要であり、継続的に市内歴史文化の魅力発信を行う。
- ③ 茶道をはじめとした文化体験は、日本文化を世界に発信する上で重要である。今後とも継続的な情報発信と茶会の実施が必要。



そ の 他

【問い合わせ窓口】 八幡市商工観光課

実施概要及び成果

【実施概要】

- ① 三川マルシェwith八幡アクティビティ
淀川沿川の5つの会場で開催された、淀川を活用したイベント「淀川舟運フェスティバル」の八幡会場として、背割堤にて「三川マルシェwith八幡アクティビティ」を実施
- ② 木津川川下り
流れ橋（上津屋橋）から淀川河川公園背割堤地区まで、カヤック、SUP（スタンダップパドルボード）、ラフティングボートでの木津川川下りを実施

【実施成果】

- ① 来場者数1,200人（2日間合計）
・マルシェやスポーツ体験、はたらくるまの展示、講演会などを実施し、桜の時期以外にも川辺のにぎわいを創出
- ② 参加者数19名（定員20名）
・木津川での水辺のアクティビティを実施することで、川辺のにぎわいづくりの取組をPRするとともに、ニーズの調査を行った。

実施主体

- ① 八幡市かわまちづくり協議会（八幡市、淀川河川公園管理センター 他）
- ② 主催：八幡市、主管：株式会社アオキカヌーワークス、協力：淀川河川公園管理センター

【問い合わせ窓口】八幡市政策企画課

実施場所

- ① 淀川河川公園背割堤地区
- ② 上津屋橋から淀川河川公園背割堤地区

実施時期

- ① 5月10日（土）～5月11日（日）
- ② 7月27日（日）

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

- ① 1. ブースの内容については一定の集客効果があることが分かったが、広報の面で課題が残る。また、天候の影響により路面の状況が悪く、大型車両などブースの配置に注意が必要となった。
2. 引き続き情報発信を続けながら、実証実験を積み重ねることで川辺のにぎわいづくりの取組について周知を図る。また、ブース出展場所の路面整備など、必要な整備について検討を進める。
- ② 1. アンケートの結果などから、水上アクティビティへの参加意欲が高く、リポート意向の高さも伺えた。一方、更衣室やシャワー室等の設備面、料金設定等については検討が必要。
2. 継続的に実証実験を実施し、機材搬入など運営面も含めて必要となる整備方法等について検討を進める。



実施概要及び成果

【実施概要】

- デザイン・設計に東京大学川添研究室を迎え、「ものづくりのまち」久御山の企業が連携し技術力を結集して製作した「久御山町『黄金の茶室』」を久御山町役場 1 階ロビーに常設展示している。
- 大阪・関西万博開催半年前機運醸成イベント「京都イロドリEXPO こいろ」に、「久御山町『黄金の茶室』」のポスター、パンフレット等を配置しPRを行った。
- 関西パビリオン多目的エリアにおける「KYOTO FOOD EXPO」にて、「久御山町『黄金の茶室』」を展示する。

【実施成果】

- 10月1日から5日間「KYOTO FOOD EXPO」にて「久御山町『黄金の茶室』」を展示し、多くの万博来場者に「ものづくりのまち」久御山を周知することができた。また、茶室内で行ったお茶席では、5日間で165名の方に久御山の特別なお抹茶で茶席体験いただくことができた。

実施主体

久御山町および町内企業

【問い合わせ窓口】 久御山町事業環境部産業・環境政策課

実施場所

久御山町役場 1 階ロビー
関西パビリオン多目的エリア

実施時期

万博期間中

※ KYOTO FOOD EXPO

令和 7 年10月1日～5日

関連HP

<https://www.town.kumiyama.lg.jp/0000002648.html>

その他

-

万博後の取組

万博後もイベント等の開催に合わせて『黄金の茶室』を展示することで、久御山町内企業のものづくりの技術力を発進する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・令和7年3月に開業したホテルを核としたビジネス支援および観光入り込み客数増加
- ・まちの駅クロスピアくみやまオープン15年記念イベントとクロスピア市を年合計10回程度開催
- ・まちの駅クロスピアくみやまで、事業者間の交流等を目的として、電源設備、Wi-Fi、フリードリンク、防音ブースなどを整えたコワーキングスペースを本格実施し、有機肥料栽培の野菜や、町内事業所の加工品など、久御山の特産品などの販売コーナーの機能を強化
- ・ホテルに滞在する町内企業訪問のエンジニア等に対するまちの駅クロスピアくみやまの利用促進
- ・お茶の京都DMOや山城地域の市町村と連携した観光振興（万博を含む）
- ・ホテル立地支援協力会議によるコンテンツの検討

【実施成果】

- ・まちの駅クロスピアくみやまにおいて、コワーキングスペースを本格実施し、利用者は大幅に増えている。また、オープン15周年イベントに加えてクロスピア市を開催し、令和7年度上半期で約5,000人の集客を得た。
- ・ホテル開業以降の利用率は高く、観光入込客数は増加している。（ホテル開業以降の観光入込客数集計は令和7年度末）

実施主体

久御山町

【問い合わせ窓口】 久御山町事業環境部産業・環境政策課

実施場所

まちの駅クロスピアくみやま

実施時期

令和7年春、10月19日、その他

関連HP

[https://www.town.kumiya
ma.lg.jp/00000000520.html](https://www.town.kumiya.ma.lg.jp/00000000520.html)

その他

—

万博後の取組

万博後もホテルとまちの駅クロスピアくみやまと連携し、南大内地区のにぎわい創出に取り組む。



実施概要及び成果

【実施概要】

- ・淀川舟運活性化協議会の参画団体による、淀川の舟運を活かしたにぎわいづくり
- ・久御山町の魅力を発信するため、淀川舟運と連携した取組の検討
- ・久御山町かわまちづくり構想の策定
- ・令和6年度に整備予定の仮設船着場を活用して、宇治川周辺市町による連携イベントの検討

【実施成果】

- ・万博開幕 6ヶ月前イベント「トレインマーケット宇治」に出展し、久御山町の農産物等を販売・PRした。
- ・淀川舟運フェスティバル開催に合わせ、久御山町の船着場でもBMX体験をはじめ様々な体験やイベントを実施した。イベントには約700名が参加し、参加者からは、幅広い世代が楽しめる多数コンテンツによって楽しめた等の意見があった。

実施主体

淀川舟運活性化協議会、久御山町

実施場所

淀川沿線市町村 他

【問い合わせ窓口】 久御山町事業環境部産業・環境政策課
久御山町都市整備部建設課

実施時期

令和5年度～

※万博開幕 6ヶ月前イベント：令和6年10月13日

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

万博後も淀川舟運事業と連携し、久御山町の魅力を発信する。



実施概要及び成果

【実施概要】

公共交通との調和や環境負荷の低減、住み続けたいと思える魅力あるまちづくりなど、健康増進のみをターゲットとする事業ではなく「歩く」テーマとしたまちづくり」まで昇華する事業展開を実施。

本事業の推進により、健康増進や介護予防に住民が自ら取り組み「健康寿命の延伸」や「医療費の削減」、「生涯スポーツの推進」を目指す。また、「歩く」ことを通し、地域連携強化による防災力の向上、地場産野菜生産者等との交流、官民学連携による取組などを実施。

- ▶ 歩くまち宣言記念イベント（ウォーキングイベント）
- ▶ 歩くまちシンポジウム（効果的な歩き方・“歩く”効果等に係る講演会）
- ▶ 住民主体による“歩く”情報発信・町内企業や官民学連携ウォーキングイベント 等

【実施成果】

令和6年11月3日実施の歩くまち宣言記念イベントでは、町制施行70周年記念に因んだイベントとして、「タイムトラベルウォーク」と題したイベントに約70人の参加があり、町内を巡った。

令和7年2月16日実施の歩くまちシンポジウムでは、一般社団法人ブレインインパクト理事長の山川義徳氏を講師として招き、「脳を良くするまち歩き」と題した講演に41名の参加があり、効果的なウォーキング等を学んだ。

- ▶ 上記イベントや日々の情報発信等により、歩く文化の定着に向けて事業を推進し、参加者の健康寿命延伸を図る取組ができた。
- ▶ 令和7年10月25日実施の「ナイトウォーク」では、住民主体の協議会が中心となったウォーキングイベントを実施し、約100名の参加があった。

久御山町

実施主体

久御山町 歩くまちくみやま推進協議会

【問い合わせ窓口】 久御山町生涯学習応援課

久御山町民生部国保健康課

実施場所

久御山中央公園
久御山町役場 等

実施時期

令和6年11月3日
令和7年2月16日（ほか）

関連HP

—

その他

- ・あらゆる人のライフスタイルにあった“歩く文化”の定着を図る。
- ・身体に障がいを持つ方、外国籍の方の参加など、あらゆる人の参加を求める。

万博後の取組

“歩く”ことを通じた事業推進により、町民・在勤者等の健康寿命の延伸を図る取組等を万博後も継続して実施。



日本茶最高峰の“玉露”を味わうプロジェクト

京田辺市

観光

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①京たなべ玉露庵において、玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験および案内所職員やボランティアガイド協会会員による観光案内を行う。
- ②「京田辺DEひとやすみキャンペーン」を実施する。
- ・キャンペーンチラシの原本を持参すると、京たなべ玉露庵で玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方を無料で体験できる。
- ・口頭で「京田辺DEひとやすみキャンペーン」と伝えたと、市内の飲食店・小売店などの対象店舗をお得に利用できる。

【実施成果】

- ①京たなべ玉露庵において、玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験利用者数：187人
万博閉幕までの玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験利用者数：187人
 - ②京田辺市への誘客および市内の消費額の増加を促した。
 - キャンペーンでの玉露の淹れ方もしくは抹茶の点て方体験利用者数：52人（9月末時点）
- 感想：玉露の美味しさに驚きました。キャンペーンがあれば訪れる機会がなかったので良い機会でした。など

実施主体

京田辺市、一社）京田辺市観光協会

【問い合わせ窓口】京田辺市産業振興課、一社）京田辺市観光協会

実施場所

京田辺市観光案内所、他

実施時期

7月19日～12月28日

関連HP

<https://www.city.kyotanabe.lg.jp/0000022509.html>

その他

—

万博後の取組

- ・万博を契機に京都・大阪・奈良を訪れる人に京田辺市へ一足のばしていただくとともに、京たなべ玉露庵でのお茶体験等を通じて特産品である玉露やまちの魅力を直接感じてもらえる機会となった。
- ・万博終了後も、誘客事業として年内まで実施予定。（予算がなくなり次第終了）

丹後万博（市内の高校生によるSDGsの祭典）

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和4年から大阪・関西万博開催の前年まで3年間実施
- 市内高校生を中心に組織された実行委員会により運営され、SDGsの祭典として開催
- ステージではファッションショーやダンスの披露、展示・販売では健康長寿食や地元食材を生かしたオリジナルフードを販売するなど市の特色を生かした出展となった

【実施成果】

- 来場者実績 3年間で延べ約7,500人（毎年2,500人が来場）
- 市内高校生を中心に、地域の様々なステークホルダーが参画し、地域でSDGsの理念の浸透を図ることができた。

実施主体

丹後万博開催実行委員会

【問い合わせ窓口】丹後万博開催実行委員会 事務局
(京丹後市 政策企画課)

実施場所

京丹後市内



実施時期

令和4年10月～令和6年10月

関連HP

<https://kyotango-sdgs.jp/blog/1008/>

その他

—

万博後の取組

- ・万博開催前より実施することで、結果的に機運を高める取組の一つとなった。しかし、万博開催年度に実施することが叶わなかった。
- ・2030年のSDGs達成の年に向け、万博後においては学生が参加し、発表の場となりうる取組の実施を検討する。

魅力的な地域資源である自然環境の保全活動

実施概要及び成果

【実施概要】

- 山陰海岸ジオパークの景観や自然環境保全のため「水晶浜大作戦」「ビーチー斉クリーン作戦」など多くの取組を実施
- 「ワンハンドビーチクリーン」や「はだしのコンサート」により観光客の方にもビーチクリーンに参加していただいた
- 新緑を楽しみながら森の働きを学ぶブナ林観測会も実施

【実施成果】

- 参加者実績 約860名
- 参加者に対して、本市が誇る豊かな自然環境への保全意識の普及・啓発を行うことができた
- 市民のみならず来訪者にも環境保全のアクションを取っていただくことで「観光SDGs」のまちとして取組を推進できた
- アンケートからは「大自然に触れることができ大変よかった」「参加できてよかった」など、参加者の満足度は高かった

実施主体

環境保全活動を行う民間団体、
京丹後市

【問い合わせ窓口】京丹後市生活環境課

実施場所

京丹後市内



実施時期

令和6年6月～令和7年9月

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

- ・ビーチクリーンをバケツリレー形式で行うなど、女性・子どもでも参加しやすい取組としたことで、山陰海岸ジオパークの景観や自然環境を守る機運を高めることができたが、ますますの参加者の確保に努めたい。
- ・万博後においても市民や来訪者をはじめ、誰もが参加しやすい取組の実施を進める。

地域資源を活用した文化・芸術の振興プロジェクト

文化・観光

京丹後市

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 令和7年4月に網野銚子山古墳史跡整備完了記念イベントが開催され、式典だけでなくブース出展や古墳巡りツアーを行った。
- ▶ 令和7年9月～12月にかけてアートフェスティバルを行い、市内で多くの文化芸術活動が実施された。フェスティバルを市内外に発信するため、本市の特色でもある古墳をモチーフにしたアートマップを作成、市内外及び万博関係各所で配布した。

【実施成果】

- ▶ 来場者実績 延べ1,000名（網野銚子山古墳）
- ▶ 網野銚子山古墳整備完了に合わせて、市内外から多くの方に来場いただき、文化財の活用を考えるきっかけとなった。
- ▶ アートフェスティバルでは、古墳や郷土資料をモチーフにした創作WS（参加者26名）を行い、参加した市民がその成果を発表。地域に誇れる文化資源があること、またその奥深さに気づきを得た。

実施主体

京丹後市教育委員会等

【問い合わせ窓口】京丹後市教育委員会 生涯学習課

実施場所

京丹後市内



網野銚子山古墳史跡整備完了記念イベント

実施時期

令和6年度～



京丹後アートフェスティバル2025 WS成果発表

関連HP

<https://www.city.kyotango.lg.jp/top/soshiki/kyoikuinakai/syogaigakusyu/7/kyotangoartfes/index.html>

その他

アートマップを日英表記（アートフェスティバルで使用）

万博後の取組

- ・万博開幕直後に行われた網野銚子山古墳史跡整備完了記念イベントでは、古墳巡りツアーといった文化資源を活用したツーリズムが実施され地域振興に繋ぐことができた。
- ・万博後においても文化財のほか、地域の文化資源を活用した文化芸術事業を行うことで、それらを活かしたまちづくりを実施していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催日である4月13日より市内事業者への受け入れを開始
- FacebookやInstagramにおいて市内事業者を紹介
- イベント型オープンファンクトリとして10月3日～5日の3日間、与謝野町と連携し「NeoTAN」を実施

【実施成果】

- 来場者実績（イベント型）3日間で約1500名
- 本市を技術力の高いものづくりのまちとして周知することができた
- 与謝野町と合同でオープンファンクトリを広域的に行い、参加者だけでなく事業者間でもつながりが生まれ始めている
- アンケートからは「丁寧な説明だった」「WSなど体験できて良かった」などの声が多く、来場者に楽しんでもらえた

実施主体

市内各事業者、京丹後市

【問い合わせ窓口】京丹後市 商工振興課

実施場所

京丹後市内

実施時期

通年実施

関連HP

- ① <https://www.facebook.com/share/19gsz3kipC/?mibextid=wwXlfr>
- ② <https://neotan.jp>

そ の 他

万博後の取組

- ・万博開催に合わせてオープンファンクトリを実施し、他の産地や近畿経済産業局などとも交流・連携することができた。しかし、高速道路が整備されたとはいえ京阪神からは距離があり、域外からの集客に苦戦した。
- ・万博後においても産業振興のためオープンファンクトリを実施する。また、広報PRについて工夫しより多くの来場者確保を目指す。



第1回世界長寿サミット

いのち

京丹後市

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催及び日本抗加齢医学会に合わせ、6月16日～19日の4日間、本市でサミットを開催
- 海外12か国から参加があり、健康長寿における食や細胞、循環器等様々な分野の研究成果を発表
- その他に、市民公開講座を実施し、市民に対しても健康長寿について触れる機会を提供
- 会場外ではヘルスツーリズムや美食などの紹介を実施

【実施成果】

- 来場者実績 4日間で延べ550名
- 海外からの参加国は12か国であり国際的な会議で健康長寿に関する知見を共有することができた
- サミットの様子は多くのメディアに取り上げられ本市が健康長寿のまちとして発信できた

実施主体

世界長寿サミット実行委員会

【問い合わせ窓口】京丹後市 商工振興課

実施場所

京丹後市内



実施時期

令和7年6月16日～19日

関連HP

<https://glm-p.com/wls2025/>

その他

サミットでは英語が主言語（字幕が日本語）、健康長寿に関連した食の提供

万博後の取組

- ・万博を契機に実施した世界長寿サミットを、百寿者の多い本市において実施できたことにより、認知度を拡大することや、国内外の研究者や専門家のシンポジウム等で関係者同士の交流を行うことができた。しかし、若年層との接点が少なく「健康長寿」を全世代の課題とできなかった。
- ・万博後においても関係各所と世界長寿サミットを継続して実施できるよう調整・検討を行いサミットの実現を目指す。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「日本最後の城-園部城-」で進めているVR制作業務の画像を万博期間に併せて公開した。公開とともにVR体験ツアーを2回実施し観光資源である「園部城」を積極的にアピールした。

【実施成果】

- VR体験ツアー（有料）は、1日目4名、2日目2名の計6名で、参加者アンケートでは、「ガイドつきでいつも通り過ぎるだけの所がまた違って楽しく見られました」や「VRをスマホで見たときは感動しました」など好評であった。VR見学者は、9月140名、9月～3月の7カ月で980名ほどを見込んでいる。また、園部駅西口の観光協会窓口には一日平均5人程度、園部城の問い合わせがあり、パンフレットを配布するなどの対応を行っている。

実施主体

南丹市・南丹市観光協会

【問い合わせ窓口】南丹市商工観光課 0771-68-0050

実施場所

南丹市園部町市街地周辺

実施時期

令和7年9月6・13日（土）

関連HP

観光協会HP

その他

-

万博後の取組

体験ツアーについては、参加者からは「また参加したい」という声も多く、好評であったため、観光のコンテンツとして考えていきたい。また、広報についても各機関と調整して進めていきたいと考えている。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて南丹市の歴史と文化を紹介する展示会を開催
 - ・夏季展「戦争と南丹市」（7月19日～9月15日 南丹市立文化博物館、南丹市日吉町郷土資料館）
 - 戦後80年を節目とする戦争の悲慘さと平和の尊さを遺された資料や写真で紹介。
 - ・秋季展（10月18日～12月7日 南丹市立文化博物館）
 - 園部藩主小出氏10代の事績を絵図や古文書等を用いて紹介。

【実施成果】

- 夏季企画展「戦争と南丹市」においては、平成24年からの継続事業として開催しているが、本年は戦後80年の節目でもあり、日吉町郷土資料館との共催とし、両館で820人の来館があった。また、期間中に2回実施したミュージアムトークでは両日で19名の参加があった。秋季展については、10月18日から開催したこともあり、入館者数を把握することができないが、目標人数を800人として実施している。

実施主体

南丹市教育委員会

【問い合わせ窓口】 南丹市立文化博物館

実施場所

南丹市立文化博物館

実施時期

夏:令和7年7月19日～9月15日
秋:令和7年10月18日～12月7日

関連HP

<https://nantan-museum.jp>

その他

—

万博後の取組

夏季展では万博を契機に、博物館・資料館の展示会を共通テーマで実施することができた。ただ、亀岡の保津川下りや美山のかやぶきの里を目指す海外からの来館者はあるが、博物館・資料館への来館はみられなかった。以前からの課題でもあるが広報不足を感じており、SNSの種類や更新回数を増加させる取組を進める。また、南丹市の魅力を発信するため調査活動を継続実施する。

実施概要及び成果

【実施概要】

- けいはんな万博2025に参画し、市域を越えた広域的な芸術祭を開催
- 木津川市役所周辺、けいはんな精華・西木津地区を舞台に日常的な空間と現代アートの融合による地域芸術祭
- アート×企業をステージとし、学研都市の特徴である最先端の「テクノロジー」「サイエンス」「教育」を最大限に生かし、市の魅力を万博を通して多くの人に伝えるために「産業・まち・社会」をアートで繋ぐ

【実施成果】

- 来場者 25,000人（木津川市役所周辺約11,000人、けいはんな精華・西木津エリア約14,000人※イベント含む）
 - 150人からのアンケート結果では85%以上の方が内容にとても満足、満足と回答
- 前回と比較し、けいはんな万博に参画したことと土日のイベントへの参加の増加や他もイベントとの相乗効果で来場数が増加した

実施主体

木津川アートプロジェクト

【問い合わせ窓口】一般社団法人木津川市観光協会

実施場所

木津川市役所周辺、けいはんな精華・西木津地区

実施時期

令和7年9月27日～10月13日

関連HP

<https://kizugawa-art.com/>

その他

-

万博後の取組

- ・25,000人の来場は前回と比較しても10,000人程度増加しており、多くの方に木津川市の魅力を発信することができた。
- ・万博後は木津川市内をメインに展示を行うが、学研都市の特徴である最先端の「テクノロジー」「サイエンス」「教育」をアートと融合させ発信を強化し、木津川市の特徴を多くの方へ認知いただく。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 自然観光・歴史体験：修験道の歴史を感じながら、笠置山が持つ自然美、行場巡りといった特色を深掘りし、観光客に独自の魅力を感じてもらおう。
- 笠置山は京都府立自然公園に指定、国の史跡及び名勝地にも指定されており、自然景観が守られ、貴重な動植物が保全されている。観光資源としてのブランド力を万博を機にPRする。

【実施成果】

- 万博期間に合わせて、秘仏の特別拝観を実施。定量的数値は未確定だが、海外からの来訪者が増加（関東ナンバーのレンタカー利用等）した。また、町内事業者によるE-bike体験が事業化されるなど、新たな商品造成に繋がっている。

実施主体

笠置寺

【問い合わせ窓口】 笠置寺

実施場所

笠置寺



実施時期

通年

関連HP

<http://kasagidera.net/>

その他

パンフレット（英語・簡体語）を作成した。

万博後の取組

①コトを起こせば誘客に繋がる気運が造成され、笠置寺のみならず、町内事業者と連携した取組みの気運が高まった。しかしながら、看板表示等の受け入れ態勢の改善が急務。 ②デジタルマップを作成。多言語表示に対応しており、町の魅力を伝達するツールを強化していく。

天王山ハイキング「秀吉の道」

観光

大山崎町

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大山崎町のシンボル「天王山」は、豊臣（羽柴）秀吉と明智光秀が戦火を交えた「山崎合戦」の舞台であり、歴史的なゆかりの地としてはもちろん、駅から登山口も近く、標高272mの登りやすい山として、地元住民や観光客に愛されている。万博に向け天王山ハイキング「秀吉の道」として発信し、天王山へ訪れた観光客に景色を楽しんでもらうとともに、歴史や京都～大阪のつながりを感じてもらおうことで、天王山、大山崎町、ひいては京都～大阪の魅力在国内外の方に知っていただく。
- ▶ 天王山の頂上は京都～大阪方面が一望できるロケーションだが、現在は雑木が茂っており、クリアに見通すことができない。そこで、万博を契機に来場する観光客等により一層魅力を感じてもらえるよう、不要な雑木を伐採し、観光コンテンツとしての磨き上げを行う。

【実施成果】

- ▶ ハイキング道にある段差の解消のため擬木階段修復工事を行ったほか、山頂付近の雑木（約20本）の伐採や山頂までの道中各所に設置している歴史紹介看板の修繕を行い、観光客の体験満足度を上昇させた。

実施主体

大山崎町

【問い合わせ窓口】大山崎町企画財政課企画観光係

実施場所

天王山



実施時期

令和6年5月～令和7年3月

関連HP

<http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp/annai/kikakuzaisei/kannkou/kanko/machinokankosupotto/tenkawakemenotennozan/965.html>

その他

—

万博後の取組

ハイキング道の整備に関しては一定の成果があったものの、整備を超えた取り組みには踏み出せなかったことが課題。今後はボランティアガイドなどを通じ、実際の観光客に対しよりよい観光施策につながる市場調査を行い、より親しみを持てるハイキング道にできるよう模索したい。

インバウンド向け周遊体験ツアー構築

井手町

実施概要及び成果

【実施概要】

万博を契機に、地域の魅力創出・発信のため、令和6年12月1日に井手町の自然や伝統工芸を体験できるモニターツアーを開催。

- たくみの里では鍛冶体験（鉄の皿作り）、陶芸体験（箸置き、陶器作り、絵付け）、木工体験（升作り）、餅つき体験
- 大正池グリーンパークではうちわの竹炭・墨絵付け体験
- テオテラスいでは井手寺跡を見学した後、地域の特産品を扱うカフェや直販所を見学。

【実施成果】

- モニターツアーに参加した府内留学生16名、体験事業を実施する団体6団体

今後インバウンド向けの体験型周遊観光を行っていくにあたって、課題や改善点の洗い出しを行うことが出来た。

※令和7年度中に一般客向けの体験ツアーを行う予定で検討中

実施主体

井手町、たくみの里、大正池グリーンパーク

【問い合わせ窓口】 井手町企画財政課

実施場所

たくみの里、大正池グリーンパーク、
テオテラスいで



実施時期

令和6年12月1日

その他

町の概要パンフレット（英語版）の配布

万博後の取組

今回の事業を通じて、町内事業者の連携が生まれ今後の発展に大きく期待できるものとなったが、一方で外国人観光客へのPR方法や交通アクセスの面での課題が生まれた。今後も引き続き、行政と事業者とが連携をはかり、井手町の良さを様々な方々に知っていただく体験ツアーの構築を図る。

「日本緑茶発祥の地」からのお茶の魅力発信・PR

宇治田原町

観光

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博の開催を機に、関西圏に国内外から多くの観光客が訪れていることから、お茶を通じた交流人口の増加・茶産業の発展を目指すため、お茶の魅力発信・PR事業として「宇治田原町お茶の未来EXPO」を開催
- 茶関連の町内の事業者による出展や、お茶、抹茶ラテ、お茶関連スイーツの販売、宇治田原町在住のシンガーソングライター「永谷茶門」氏による、ライブイベントを実施

【実施成果】

- 来場者数約100名。
- 当日は雨天のため想定より来場者数は少なかったが、約100名の来場者に対し、町のPRを行い、交流人口の増加を図ることができた。

実施主体

地域おこし協力隊

【問い合わせ窓口】 宇治田原町産業観光課

実施場所

西ノ山展望広場及びくわ池自然公園

実施時期

令和7年10月4日（土）

関連HP

宇治田原観光情報サイト

(<https://ujitawara-kyoto.com/>)

その他

日本緑茶発祥の地ならではの「茶」に特化したイベントとし、近隣の宇治駅よりシャトルバスも運行した。

万博後の取組

万博を契機に西ノ山展望広場で大規模なイベントを開催し観光地としてのPRにつなげることができた。またシャトルバスの運行やシンガーソングライターによるライブなど広場開園以来初めての取組を実施し、今後のイベントへの参考にすることが出来た。想定より来場者数が少なかったため、事前の広報など課題を整理し、今後の取組に引き継いでいきたい。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 各種検(健)診・保健事業に関わる主体(町、京都府、民間企業、大学等)による啓発・計測ブース出展、ウォーキング・ニュースポーツ等の運動体験、AR・VR体験
- 医療専門職による個別相談と健康教育講座、子どもが参加できるワークショップや健康をテーマにしたゆるキャラショー

【実施成果】

- 来場者実績約140名(参考：町人口約8,600人)、子どもから高齢者まで多くの年代の住民が来場。
- アンケート結果(128名から回答)では肯定的な評価が94%、滞在時間は1～2時間が58%と最も多かった。来場者が楽しみながら健康づくりに関する計測や実践を行い、すべてのライフステージに応じた健康づくりの周知啓発と個々のヘルスリテラシーの向上につなげることができた。

実施主体

宇治田原町

【問い合わせ窓口】 宇治田原町健康対策課

実施場所

宇治田原町住民体育館

実施時期

令和7年5月17日(土)

関連HP

宇治田原町HP

(https://www.town.ujitawara.kyoto.jp/)

その他

携帯型翻訳機(ポケットーク)を配備

万博後の取組

- ・ 万博出展企業の参画により官民連携を拡大し、関連事業として積極的な周知を行ったこと等により、多くの住民の参加につなげることができたが、一方で、町内人口の約6%を占める外国人の参加拡大にはつながらなかった。
- ・ 万博後も毎年度、本イベントを開催することにより、年齢・性別・国籍を問わず、すべての住民の健康づくり・健康年齢の向上を図る重層的な取り組みを継続して実施する。



2025茶源郷・オープンエアミュージアム (茶源郷・まるごと博物館) 構想

和束町

観光

実施概要及び成果

【実施概要】

- けいはんなヘルスケアパビリオンにおいて、茶摘み体験を4月23日・9月19日に実施。町内での茶摘み体験は人気のコンテンツの一つであるが、万博を契機に風景動画を投影しながら町外で茶摘み体験を行い盛況であった。
- 3月～11月、時速20キロ未満で公道を走るグリーンスローモビリティを運用し茶畑や町内商店を結ぶ周遊観光を実施。
- 万博会場（8月23日・24日、10月1日）で多種多様な和束茶のPRと茶生産者による和束茶の振る舞いを実施した。

【実施成果】

- 和束町の知名度向上と和束茶ファンの獲得：けいはんなプラザ和束茶の振る舞い約700名、大阪ヘルスケアパビリオンお茶摘み体験316名、関西パビリオン和束茶振る舞い約3,700名、万博フェスティバルステーション和束町ブース来場者約2,000名、関西パビリオン京都ゾーン和束町ブース来場者約500名、グリーンスローモビリティ周遊観光利用者：402人（令和7年3月～10月末まで）

実施主体

和束町・和束町地域力推進協議会

【問い合わせ窓口】まちづくり応援課

実施場所

和束町内・万博会場

実施時期

令和5年度～令和7年10月31日

関連HP

<https://www.town.wazuka.lg.jp/event/4421.html>

その他

令和6年度英語パンフレット作成し、万博会場等で配布、令和7年度中に韓国語・中国語のパンフレットを作成予定

万博後の取組

万博を契機に、茶生産者「茶の匠」自らが和束茶をPRすることで、生産者の顔が見えるPRを行うことが出来た。来場者も貴重なお話を聞くことが出来た、多種多様な和束茶をいただく事が出来たと好評だった。しかしながら展示や茶香服体験、和束茶の振る舞い等において、多言語化が十分でないこと、デジタルを駆使した展示方法の検討、和束茶や地域資源を生かした商談に繋がってはいないこと、また、新規事業参入等企業誘致には至っていない。万博後も和束茶のPRを町内事業者や茶生産者とともにに行いながら、ビジネス機会の創出に向けた出展や事業者への支援に努める。



けいはんな学研都市文化創造・魅力発信イベント

実施概要及び成果

【実施概要】

- 音声合成等の先端技術を活用した「歌は時空（とき）を超えてⅢ 京町セイココンサート」を開催
- けいはんなプラザを拠点とした文化事業やコンサート、科学体験教室の開催

【実施成果】

- 歌は時空（とき）を超えてⅢ 京町セイココンサート 来場者数約700人、オンラインチケット販売数189枚
- 「はじめての上方落語」来場者数232人 けいはんなロボット体験教室来場者数57人

実施主体

精華町、けいはんな学研都市活性化促進協議会

【問い合わせ窓口】精華町企画調整課

実施場所

精華町内



実施時期

令和5年度～

関連HP

<https://www.keihanna-plaza.co.jp/event/council/>

その他

－

万博後の取組

音声合成や3Dモデル等先端技術と伝統的なクラシック音楽の演奏を融合させることで学研都市にふさわしい新たな音楽文化を創造することができた。コンサート映像をライブ及びアーカイブ配信することで学研都市域内外を問わず広く魅力を発信できたことから、今後もオンラインでの情報発信を通じて活動を飛躍させていきたい。

けいはんな万博関連イベント 「けいはんなビジネスメッセ」

産 業

精華町

実施概要及び成果

【実施概要】

➤ けいはんな学研都市における最大級のビジネス展示会であり、出展事業者や来場事業者との効果的なマッチングを通じて販路開拓や新事業創出等を支援する。けいはんな万博の関連イベントとして、「けいはんなビジネスメッセ」を開催し、けいはんな学研都市内で行われる 最新の研究発表や技術展示会において、学研都市としての研究開発の創発や産業活性化を推進するもの。KYOTO SMART CITY EXPO 2025と同時開催を予定していたが、令和7年度においては会場スペースが逼迫していたことからKYOTO SMART CITY EXPO 2025の単独開催となり、けいはんなビジネスメッセについては開催しなかった。

【参考:実施成果】

令和5年度 ・ビジネスマッチング展示会：リアル出展67社、オンライン出展76社 ・来場者計3,050人、有効商談件数113件
令和6年度 ・ビジネスマッチング展示会：リアル出展58社、オンライン出展61社 ・来場者計3,100人、有効商談件数169件

実施主体

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構・精華町

【問い合わせ窓口】公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構・精華町商工推進室

実施場所

けいはんなプラザ



実施時期

令和5年10月5日～6日
令和6年10月3日～4日

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

- ①リアル出展とオンライン出展を行うことで令和6年度では多くの事業者に出展いただくことができたが、出展者や展示内容が固定化する傾向が見られるため、出展内容や方法には工夫が必要。
- ②開催場所・時期や内容について、他類似イベントの状況を踏まえて再検討が必要。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 毎秋、他府県からも多くの人たちが訪れる、学研都市地域最大級のイベント
- 地元グルメや特産品販売（精華cafeなど）が軒を連ね、バンド演奏やダンスといった多彩なパフォーマンスで、老若男女問わず楽しむことができる催しを多数実施
- 令和7年度は万博会期に合わせ開催された「けいはんな万博」の連携イベントとして10月12日（日）に開催

【実施成果】

- 来場者数27,000人
 - ・精華町内：62.2%
 - ・精華町外：37.8%（京都府外：20%）
- アンケート結果では、「つながりができた。」や「来年も行きたい。」など絶賛の声を多くいただいた。

実施主体

せいか祭り実行委員会

【問い合わせ窓口】せいか祭り実行委員会事務局（精華町自治振興課）

実施場所

けいはんな記念公園、けいはんなプラザ

実施時期

令和7年10月12日（日）

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

約27,000人もの方々に来場いただき、様々な催しを通して、地域交流や地域活動の活性化を図るとともに、住民や地域活動団体、企業等の交流、さらには町内外の方々の交流などを促進することができた。今後も継続的に実施し、更なる活性化を目指す。



むらびとのいとなみに触れる旅 産地を味わうシングルオリジナル「むら茶」体験ツアー

観光

南山城村

実施概要及び成果

【実施概要】

【ハイヤーで行く】宇治茶の産地として確かな味と品質を誇る「むら茶(南山城村産のお茶)」を堪能できる特別体験

ツアー① 茶農家と一緒に茶畑散策。製造ストーリーやこだわりを聞きながら「茶農家直伝」の飲み比べ体験を。

ツアー② 京都・むら茶コンシエルジュが案内する日本遺産の茶畑散策。普段は入ることができない茶畑で、お茶の歴史や茶畑景観の秘密、品種や製法のことまで初心者向けに丁寧に解説。

ツアー③ 京都・むら茶コンシエルジュの解説付き飲み比べ体験。セレクトした3種のむら茶を五感で感じることが出来る。お茶の魅力や淹れ方のコツも分りやすくお伝えする。

【実施成果】

催行予定 ツアー①：1月17日(土)・2月1日(日) ツアー②：2月7日(土) ツアー③：1月24日(土)・2月14日(土) ※現在募集中

実施主体	南山城村	  
実施場所	南山城村	
実施時期	令和8年1月17日～2月14日	
関連HP	MKトラベル > 京都観光タクシーツアー	
その他	参加対象：インバウンド・日本人対応 ※宗教や文化の多様性に配慮した食事への対応を今後検討	

万博後の取組

広報・予約受付・繁忙期のガイド支援等を行う観光マネジメント団体を作り、継続的な経済循環を推進する

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて京都の伝統芸能をPRする公演等を京丹波町内2箇所で開催（6月、9月、11月 伝統芸能常設館、10月 和知駅前等）
- 伝統芸能常設館及び和知駅前等では、万博会場にも出展した和知太鼓保存会による体験と実演の他、和知人形浄瑠璃の体験会を開催し、特産品の販売も実施した。

【実施成果】

- 来場者実績1,000名（伝統芸能常設館300名、和知駅前等700名）
- 来場者からは、「京都の伝統芸能を間近で体験することができ、太鼓や笛の音色は心に響いた。」などの感想を頂いた。

実施主体

和知太鼓保存会

【問い合わせ窓口】 京丹波町企画情報課

実施場所

伝統芸能常設館（京丹波町）
和知駅前等（京丹波町）



実施時期

令和7年6、9、10、11月

関連HP

和知太鼓保存会HP (<https://www.wachi-taiko.com/>)

その他

—

万博後の取組

- ・ 万博を契機に、伝統芸能をキーワードに様々な分野との連携したイベント等を開催し、京丹波町との関わりを作る機会を創出してきた。その結果、従前より来場者は、増加しており、万博効果が発現してきている。
- ・ 万博後は、パンフレット等の言語を多言語対応し、「京丹波伝統芸能文化サークル定期公演」として継続実施することにより、万博のレガシーとして次世代へ継承していく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- HOTEL THE MITSUI KYOTO「京丹波栗アフタヌーンティー」開催（10月1日～11月30日）
- 全国から有名な栗産地が集まり、それぞれが手掛ける個性豊かなモンブランを披露する「全国モンブラン大会2025」を開催し、日本のふると京丹波への誘客を実施した。

【実施成果】

- 全国モンブラン大会2025来場者実績 2万3千人

実施主体

京丹波町

【問い合わせ窓口】 京丹波町企画情報課

実施場所

HOTEL THE MITSUI KYOTO（京都市）
京都府立丹波自然運動公園（京丹波町）

実施時期

令和7年10、11月

関連HP

プレスリリース
(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000071.000054747.html>)

その他

—

万博後の取組

- ・ 大阪・関西万博2025の関西パビリオン京都ゾーンでは、京丹波栗をふんだんに使ったオリジナルスイーツの販売も実施し、万博から京都市や京丹波町への人の流れを構築してきた。
- ・ 今後も町外の皆様に京丹波の食文化を体感いただくとともに、地域内の生産者や事業者の励みにも繋がるよう多様な連携を通じて「栗の町 京丹波」のブランド力を向上し、食文化の継承を進めていく。



実施概要及び成果

【実施概要】

- ・近隣市町及び観光客に対して伊根町の良さを広く伝え地産地消を推進する。
- また、伊根町の地元産品を最高の状態で提供しPRすることにより、新規及びリピート観光入込客の増進を図り、地域経済の活性化に繋げる。
- ・連携自治体の特産品PRの場を提供する。

【実施成果】

- ・当日は、終日雨がよく降ったが、500人の来場者があり、賑わった。
- ・地元産物をたっぷり使用した模擬店での加工品等が並んだ。水産会社の出店もあり、新鮮な水産物を購入することができた。
- ・生産者からのご厚意で農産物の詰め放題を実施したほか、農産物を使用したおみそ汁をふるまい、いずれも大変好評だった。
- ・和束町、大阪府泉佐野市の出展ブースを設営し、それぞれの市町の特産品をPRすることができた。

実施主体

伊根町農林漁業振興会

【問い合わせ窓口】伊根町地域整備課0772-32-0505

実施場所

旧JA伊根支店



実施時期

令和7年11月9日

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

- ・万博を契機に、他の地方団体と連携を深め、事業を実施することが出来た。
- ・これからも連携自治体の特産品をPRする場を提供しつつ、伊根町産の農産物・海産物の魅力を広める取組を継続して行う。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大阪・関西万博を契機に、日本を代表する短詩系文学の一つである俳句の魅力を国内外問わず発信し、海外在住者を含む、より多くのより多様な方が俳句に触れる機会を提供する。
- 与謝野町・蕪村顕彰全国俳句大会の開催
 - ・国際的なネットワークを持つ俳句団体（国際俳句協会）との連携
 - ・俳句について強い発信力を持つ俳句団体（日本伝統俳句協会、俳人協会、現代俳句協会）との連携

【実施成果】

- 事前投句数 自由題の部…2223句（746人）、前書俳句の部…633句（633人）
与謝野町合併20周年記念部門…438句（438人）
- 俳句大会は今後実施

実施主体

与謝蕪村顕彰与謝野町俳句
大会実行委員会

【問い合わせ窓口】与謝野町教育委員会社会教育課

実施場所

与謝野町立生涯学習センター知遊館

実施時期

- ▶ 事前投句 6月20日（金）～8月19日（火）
- ▶ 俳句大会 11月30日（日）予定

関連HP

<http://kozan-bunko.sakura.ne.jp/haikuprize.html>

その他

—

万博後の取組

「万博を契機に、日本を代表する短詩系文学の一つである俳句の魅力を国内外問わず発信し俳句に触れる機会を提供する」というコンセプトに賛同いただいた国際的、国内的に強い発信力を持つ俳句団体との連携が図れたため、次年度以降も、この連携を継続しながら、与謝野町・蕪村顕彰全国俳句大会を開催する。



俳句大会（令和6年度の様子）

ちりめん街道重伝建選定20周年記念イベント

与謝野町

文化・環境

実施概要及び成果

【実施概要】

「ちりめん街道滞在交流マスタープラン実施計画」に基づき、与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区（ちりめん街道）の国による重要伝統的建造物群保存地区選定20周年を契機として、住んで良し、訪れて良しの持続可能な地域づくりのため、今までの歩みを確かめつつ、これから近未来20年への意識を促すための記念イベントを実施。

- 町並みトークセッション・フラメンコLive・プロジェクトマッピングの実施
- 暖簾・伝統的建造物明示プレート・竹燈籠を作成し、ちりめん街道としての個性の打ち出しや光による演出を行う
- Music Fusion in Kyoto音楽祭と連携して実施

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町教育委員会社会教育課

実施場所

ちりめん街道一帯

実施時期

令和7年11月24日（月・祝）

関連HP

https://www.town.yosano.lg.jp/culture/art/cultural-property/20_1/

その他

—

万博後の取組

ちりめん街道重伝建選定20周年のイベントを通じ、多くの方に「ちりめん街道」を知っていただくとともに、地域の機運醸成につなげ、今後のちりめん街道の町並み保存や活性化につなげていく。



ちりめん街道



実施概要及び成果

【実施概要】

環境共生コミュニティ総合対策の一環として、先人が育んだ素晴らしい伝統と自然豊かな環境を活かし、町民の暮らしと営みが持続・発展する循環型社会のまちづくりを目指すため、万博会場内で事業実施されている京テキスタイルプロジェクトとの連携による機運醸成イベントを実施。

- トークイベント：テーマ「環境にやさしい食育」、出演者「浅利 美鈴（総合地球環境学研究所 教授）」「尾藤 環（辻調理師専門学校）」「与謝野町長」ほか
- 和装品ちよこっとリユース
- 「阿蘇シーサイドピクニック」コラボ開催

【実施成果】

- トークイベント来場者数：32人 和装品ちよこっとリユース利用者数：約250人
- トークイベントでは出演者それぞれの視点から環境や食育について意見を交わし理解を深めることができた。会場にはウェルズ元環境・教育大臣であるJane Davidson氏も来場されスピーチいただいたくども、11月にウェルズ（アベリツイス）を訪問する高校生と面談いただくなど縁を深めることができた。
- コラボ開催した阿蘇シーサイドピクニックにも多数の来場者があり、来場者に対し町のリユース事業や自然循環農業のPRを行うことができた。

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町農林環境課

実施場所

阿蘇シーサイドパーク

実施時期

令和7年9月28日（日）

関連HP

—

その他

—



トークイベント「環境にやさしい食育」をテーマに発言する登壇者たち



Jane Davidson氏（写真中央）
も来場しリユース着物を着用

万博後の取組

食育について環境面からもアプローチすることができたため、今後の展開につなげる。
京テキスタイルプロジェクトとのコラボにより、ちりめん産地である特徴を活かした和装品のリユース事業に初めて取り組んだため、次回以降の「ちよこっとリユース事業」や、「阿蘇シーサイドエリアを活用したイベント」につなげていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

与謝野町は、令和8年3月1日で合併20年目を迎える令和7年度を記念期間とし、これまでを振り返り、これからを展望する様々な取組を展開。また、与謝野町では、協働のまちづくりを推進しており、多様な主体と連携（コラボ）することで、単独実施より大きな効果（シナジー効果）を実現。

- 与謝野町合併20周年記念式典（令和8年3月1日）、教育座談会（令和7年6月9日）
- みんなで多様性×人権を考えるつどい（令和8年2月28日）
- よさの魅力発信応援プロジェクト（合併20周年記念冠事業、公共施設等利用の住民向け企画、一体的な広報の実施）

実施主体

与謝野町等

【問い合わせ窓口】与謝野町

実施場所

各事業実施場所

実施時期

各事業実施時期

関連HP

与謝野町HP

その他

—

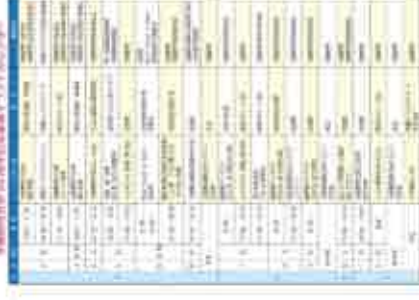
万博後の取組

多様な主体と連携（コラボ）することで、大きな効果（シナジー効果）を実現することができるため、次年度以降も、多様な主体との連携による事業を展開する。

また、一体的な広報を行うことで大きな効果を実現することができるため、積極的なプロモーション展開を進めていく。



合併20周年記念冠事業
ロゴマーク



一体的広報を実施

実施概要及び成果

【実施概要】

関西パビリオン 京都ゾーンへの与謝野ホップの出展（6月9日～6月15日）を契機に町への誘客と、特産品や体験コンテンツを体感いただく取組を実施。

- 与謝野町の特産品コーナーを拡大（道の駅シルクのまち かや、旧加悦町役場庁舎）
- ゆかたでぶらり♪ちりめん街道、ホップ収穫体験、与謝野駅100周年記念式典・与謝野駅100周年記念イベントとコラボ開催
- 与謝野駅、ちりめん街道、道の駅シルクのまち かや等を結ぶ周遊バスを運行

【実施成果】

- 与謝野町へ来場者数を増やすため、町内で特産品コーナーを2箇所設置し来町者へPRした。また、ちりめん街道を起点する周遊バスを7月12日運行し、25名の方をちりめん街道へ案内することができた。

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町産業観光課

実施場所

道の駅シルクのまち かや
旧加悦町役場庁舎

実施時期

令和7年7月12日（土）～8月3日（日）

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

周遊バスについては、PR不足等から利用者数が伸びやんだこともあり、継続については未定である。
特産品コーナーについては、引き続き各方面で設置やホームページ等によりPRを図る。

実施概要及び成果

【実施概要】

万博を地元が地場産業を知る契機とし、地域一体でオープンファクトリーに取り組み、魅力的なサテライトパビリオンとして発信し、与謝野町への誘客に繋げるとともに他地域の産地間での交流・連携を行い、共創を促進する基盤を構築する。

また、モノづくり現場における職人のワザ、こだわり、受け入れる気持ちなどをオープンにすることで、国内のみならず、世界中から訪れる人との交流、新しいアイデアの創出やコラボレーションを活性化させる場とし、与謝野町が持つ魅力の可視化・認知度を向上させる。

➤ オープンファクトリーの勉強会・交流会、オープンファクトリーイベントの開催

【実施成果】

➤ 京丹後市と与謝野町が連携し、丹後オープンファクトリー実行委員会を立ち上げ、28社によるオープンファクトリーを実施した。3日間で約1500人が来場し、来場者の約9割から満足との回答があった。また、参加事業者からは、7割が「自社の技術力や製品の魅力発信」に繋がったと回答があり、オープンファクトリーを通して周年を通してオープンファクトリーを実施する業者育成にも繋がった。

実施主体

丹後オープンファクトリー実行委員会

【問い合わせ窓口】与謝野町産業観光課

実施場所

丹後織物工業組合他



実施時期

令和7年10月3日（金）～10月5日（日）

関連HP

<https://neotan.jp/>

その他

万博後の取組

参加した事業所の約9割が継続して丹後オープンファクトリーを実施したい旨の回答があることから、丹後オープンファクトリーを開催の継続を検討する。丹後全体で丹後オープンファクトリーが実施できるように他市町への普及を図る。他旅行のファクトリーツアーの受け入れが自社でできるような体制づくりを進める。

与謝野駅100周年記念式典

観 光

与謝野町

実施概要及び成果

【実施概要】

「与謝野駅周辺まちづくり計画」に基づき、与謝野駅100周年を契機に、地域・事業者・行政がそれぞれの強みを活かしながら、鉄道、まちの玄関口の駅、空き家など、地域資源を活かしたまちづくりによる地域活性化を推進する機運醸成のため、記念式典を実施。

- 与謝野駅における記念式典の実施（宮津線100周年記念ロゴマーク最優秀賞の発表及び授賞式もあわせて実施）
- 地域団体が主催する「与謝野駅100周年イベント ヨサノガーデンスフェス2025」や「よさの知る来（シルク）旅」「ホップ収穫体験」「与謝野駅開業100周年記念写真展」コラボ開催
- 与謝野駅開業100周年記念特別企画列車や与謝野駅とちりめん街道を結ぶ周遊バスもコラボで運行

【実施成果】

- 記念式典参加者：約200名
- ヨサノガーデンスフェス2025来場者：約1,800名
- 記念式典では地元小学校児童による合唱等を披露
- 地域（イベント開催、式典出演等）、事業者（特別企画列車の運行、ホップ収穫体験等）、行政（記念式典、授賞式の開催等）が連携

実施主体

与謝野町

【問い合わせ窓口】与謝野町企画財政課

実施場所

与謝野駅



ガーデンスフェスでは打ち上げ花火も

実施時期

令和7年7月12日（土）



与謝野駅100周年記念式典
(地元小学校児童による合唱)

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

「与謝野駅周辺まちづくり計画」にある地域・事業者・行政の連携による活性化の機運醸成が図れたため、今後は、それぞれの強味を活かし、活性化イベントの継続や駅舎改修、改修した駅舎を活用した事業展開等の駅周辺地域の活性化につなげていく。

京都発祥の伝統文化“いけばな”の展示

文化・環境

団体・有識者
池坊委員

実施概要及び成果

【実施概要】

- 4月13日から随時、いけばな発祥の地“六角堂”と池坊会館で「いけばな作品展示」を実施
- いけばな資料館では、華道未経験者向けの内容を展示
- 8月23日、24日には池坊会館1階ロビーで男性会員による「男花展」を開催
- 京都を皮切りに全国4都市で「花・いのち・みらい」をテーマに展覧会を開催 サステナブル台等を使用した展示を実施

【実施成果】

- 池坊会館のいけばな展示、いけばな資料館は無料で見学可能で、多くの方にご覧いただいた
- 男花展には38名が参加。約500人が来場。
- 札幌、東京、名古屋、福岡で開催した本部花展には、約1000人が参加。総入場者数は約52500人。

実施主体

一般財団法人池坊華道会

【問い合わせ窓口】 一般財団法人池坊華道会 事業部

実施場所

池坊会館（京都市中京区）



実施時期

4月13日から随時

関連HP

<https://www.ikenobo.jp/>

その他

13か国語のパンフレットデータを作成。QRコードから閲覧可能とした

万博後の取組

・難しいと思われがちな華道を身近に感じて頂くために様々な手法や工夫をし多くの展示機会を増やすよう試みた。実際にご覧になった方からは「斬新」「面白い」「楽しい」といった声も聴かれ、興味関心を高めることに繋がった。リサイクル可能な素材を使った展示は、今後も継続しながら、新しいファン獲得につなげたい。

京都経済4団体による万博への協力と機運醸成活動

産 業

商工会議所・経営者協会
経済同友会・工業会

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都商工会議所・(一社)京都経営者協会・(一社)京都経済同友会・(公社)京都工業会の京都経済4団体では、「大阪・関西万博」京都支援協議会を立ち上げ、主に以下の事業を通じて京都経済界として大阪・関西万博に協力し、機運醸成を図ることを目的に活動した。

【実施成果】

- 協力いただいた商店街からは、フラッグの掲示によって賑わいが生まれたなどの声が聞かれた。
- 会場建設費の寄付募金活動、前売入場チケット販売協力
- ・京都市内のシティドッシングによる機運醸成：23商店街、地下鉄烏丸線全15駅・東西線全17駅、地元金融機関・機運醸成セミナー「大阪・関西万博セミナーin京都」の開催：計7回、参加者数延べ748名
- ・京都経済4団体が主催するイベントへの万博PRブース出展：計21回
- ・webサイト等を通じた情報発信

実施主体

「大阪・関西万博」京都支援協議会
(構成団体：京都商工会議所、
(一社)京都経営者協会、(一社)京都経済同友会、(公社)京都工業会)

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所特別プロジェクト推進室

実施場所

京都市内各所

実施時期

通年

関連HP

<https://expo2025.kyo.or.jp/>

その他

—

万博後の取組

万博における成果を共有し、会期後も継続して京都経済界に万博の効果がもたらされるよう取り組む。



京の味めぐり・技くらべ展

団体・有識者

商工会連合会

実施概要及び成果

【実施概要】

- 「大阪・関西万博」の来場者や、地方の京都ブランドのファンを対象とした物産展をJR京都伊勢丹、四条センター、KITTE大阪及び6つの地方百貨店（岩手、鹿児島、宮崎、大分、茨城、福島）にて、9月から1月にかけて開催する。当該催事は、京都府食品産業協会、京都府物産協会、京都府観光連盟、京都府及び京都府商工会連合会が実行員会を組織し実施している。

【実施成果】

- 10月21日～27日に開催されたJR京都伊勢丹地下食品売場で実施された催事では、府内食品事業者10事業者が出店を行った。期間中売上等は報告時点では未集計。

実施主体

京の味めぐり・技くらべ展実行委員会

【問い合わせ窓口】(公社)京都府物産協会等

実施場所

JR京都伊勢丹等

実施時期

令和7年10月21日～27日等

関連HP

<http://www.syoku-kyoto.com/news/2025/06/72.html>

その他

令和7年度は、四条センター、KITTE大阪へ初出店を行った

万博後の取組

- ① 実施成果を踏まえて見えてきたことや課題：昨年度に比べ出展場所の改善や出店場所を増加、事業者の販路開拓機会の創出に繋がった。
- ② 前記①を踏まえた万博後の取組の方向性：引き続き、府内特産品事業者の販路開拓の機会創出に繋がる支援を継続する。



大商工祭

団体・事業者

商工会連合会

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都農林水産フェスティバルと共同開催される物産展イベント。令和6年度は2日間の開催期間中に49,000人の来場者があった。令和7年度は府内20の商工会地域から18の事業者が出店し、府内産原材料を使用した食品や伝統工芸品等の販売を行う計画。

【実施成果】

- ▶ 11/29～30開催事業のため報告時点において未実施。

実施主体

京都府商工会連合会

【問い合わせ窓口】京都府商工会連合会

実施場所

京都パルスプラザ



令和6年度画像

実施時期

令和7年11月29日～30日

関連HP

—

その他

—

万博後の取組

- ① 実施成果を踏まえて見えてきたことや課題：地域の小規模事業者は情報発信力に限りがあることから、継続的な伴走支援の実施が課題。
- ② 前記①を踏まえた万博後の取組の方向性：万博閉幕以降も継続的に地域・小規模事業者が持つ高付加価値商品を、継続的な販路開拓や情報発信支援を行い、他地域からの外貨獲得や交流人口の増加を目指す。

大阪・関西万博：未来へ繋げようプロジェクト

観光

団体・有識者
商工会連合会

実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和7年4月から10月に開催の「大阪・関西万博」への来場者や一般の観光客に向け、京都府内商工会地域の「体験・グルメ・宿泊」の魅力を発信することで誘客を図り、地域振興及び消費拡大による利益の確保を目指し情報発信を行った。万博開催に合わせて当該ホームページの機能強化（SNS連携、マップ機能等）に取り組み情報発信の強化につとめた。

【実施成果】

- 京都市等都市部を除く地域の87事業者を掲載。体験・食・宿泊の情報発信を実施した。

実施主体

京都府商工会連合会

【問い合わせ窓口】075-205-5418

実施場所

WEB



実施時期

令和7年4月～10月



関連HP

<https://another.kyoto-fsci.or.jp/>

その他

—

万博後の取組

- ・課題：掲載事業所のページ閲覧数に差があり、サイト内の回遊性を上げることが今後の課題
- ・今後の方向性：万博閉幕後も継続的に当該WEBサイトの機能強化や掲載事業者増加に向けた取り組みを推進する

実施概要及び成果

【実施概要】

- 企業経営者や環境部門担当者などが共に学び情報交流を行う場として、セミナーを開催。脱炭素や循環経済などをテーマに取り上げ、環境経営の必要性・取組事例・具体的手法などを紹介した。

【実施成果】

- 開催回数 全17回
- のべ実績 累計682名
- 主なテーマ 「環境経営」「脱炭素」「ものづくり企業のDX」「資源循環」「生物多様性」

実施主体

京都商工会議所
環境・エネルギー委員会

【問い合わせ窓口】京都商工会議所 産業振興部 商工振興課

実施場所

京都市内 もしくは オンライン



実施時期

年に数回実施

関連HP

<https://kyoeeco.peatix.com/>

その他

—

万博後の取組

今後も継続的にセミナーを開催し、企業の環境対策・カーボニュートラルへの対応を支援する。

KYOTO Cross Media Experience(KYOTO CMEX)

文化・環境

団体・有識者

商工会議所

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 京都を舞台に、産学公連携の下、オール京都体制で映画・映像、ゲーム、マンガ・アニメ等のコンテンツをクロスメディア展開することにより、京都が持つコンテンツのポテンシャルと魅力を国内外に発信
- ▶ 世界中の著名ゲーム企業やインディーゲームクリエイターが集まり、交流するインディーゲームの祭典「BitSummit」の開催
- ▶ 「京都国際マンガ・アニメフェア」を活用したインバウンドの拡大、国内外の海外企業との連携等によるコンテンツビジネスの拡大
- ▶ コンテンツ産業の振興とそれを支える人材の育成・交流
- ▶ 万博来場者に向け、マンガ・アニメ・ゲームなど、クロスメディアコンテンツの魅力を発信

【実施成果】

- ▶ BitSummit 令和6年7月19～21日(来場者数38333人)、令和7年7月18～20日(来場者数 58,065人)
- ▶ 京都国際漫画・アニメフェア 令和6年9月21・22日(来場者数35,730人) 令和7年9月20・21日(来場者数 36,143人)
- ▶ 京都国際マンガミュージアム 令和7年5月1～11日 関西万博関西パビリオンに出展

実施主体

KYOTO Cross Media Experience 実行委員会

実施場所

京都市勤業館（みやこめッセ）、京都国際マンガミュージアム、
京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所、東映太
秦映画村など

実施時期

令和7年度は令和7年7月～令和8年3月

関連HP

<https://cmex.kyoto/>

その他

ホームページは日・英・仏・中の4か国語対応、SNSは日・英2か国語対応



【問い合わせ窓口】

京都商工会議所
産業振興部
京都府商工労働観光部
産業振興課
京都市産業観光局
クリエイティブ産業振興室

万博後の取組

コンテンツビジネスの集積地・京都として、今後も京都のコンテンツの魅力発信を行う

京都・観光文化検定試験

文化・環境

団体・有識者
商工会議所

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都に関する歴史、文化、産業、暮らしなど多分野にわたり、京都通度をはかる検定試験を実施。
※観光業界のおもてなし向上を目的として、平成15年に創設した検定試験。

【実施成果】

- 令和5年度で20周年を迎え、延べ15万人以上が受験。
- 個人での受験の他に、企業等の各種団体の団体受験制度で3級受験者の上位3名の合計点を競い、上位8チームを表彰する「G-1グランプリ」を実施。
- 令和6年度以降3回(第24・25・26回)実施し、計8,249名が受験した。

実施主体

京都商工会議所

【問い合わせ窓口】京都商工会議所 会員部 検定事業課

実施場所

7月・京都市内各所
12月・京都市内・東京都内各所

実施時期

7月(3級のみ)・12月(1・2・3級)

関連HP

<https://www.kyotokentei.ne.jp/>

その他

—

万博後の取組

国際観光文化都市・京都としてのおもてなし力向上の一助となるべく、また京都の観光・文化の魅力発信の担い手を育成すべく、検定試験を継続して実施する。



文化庁京都移転関連事業

文化・環境

団体・有識者
商工会議所

実施概要及び成果

【実施概要】

- 旧富岡鉄斎邸（元京都府議会議員公舎）を整備し、貸会場として開館した「京・和新庵～文化と産業の交流拠点～」での活用プログラムの展開

【実施成果】

- 万博開催にあわせた次世代への文化の継承イベントの実施
〔ビジネスパーソン対象〕煎茶、いけばな、演劇、eスポーツ：4講座、のべ200名
〔子供向け〕煎茶、いけばな、染色、七宝焼き、京こま、ミニ置、水引：10講座、のべ400名
- 万博および文化の発信拠点として、情報の発信および貸会場としての活用促進：来館者数のべ8,000名

実施主体

京都府、京都商工会議所

【問い合わせ窓口】京都商工会議所 特別プロジェクト推進室

実施場所

上京区室町通一条下ル薬屋町429



実施時期

令和6～7年度

関連HP

<https://kyo-washinan.jp>

その他

—

万博後の取組

万博後も引き続き、「京・和新庵～文化と産業の交流拠点～」を活用した事業を展開する。

KYOTO Next Award

産 業

団体・有識者
商工会議所

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・京都の新しい魅力や価値を創造・発信し、地域の活性化やブランド構築につながるような取り組みを行う法人、団体、個人等を発掘し、京都府、京都市、京都商工会議所の「オール京都」で表彰する
- ・表彰だけでなく、受賞者の課題解決や成長に向けたビジネスマッチング、広報協力等を行い、京都ブランドとして飛躍するための支援を行う。

【実施成果】

- ・今回の受賞者として、(株)ローカルフラッグ、Riku Matsuzaki、(株)虫秘茶、(株)斗々屋を選定した。
- ・万博来場者等へ京都の魅力と次世代の京都ブランドの発信した。

実施主体

京都ブランド推進連絡協議会

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所 産業振興部 商工振興課

実施場所

京都市内

実施時期

令和7年1月21日～4月11月 第2回募集
同年5月～7月 選考・受賞者決定
同年9月8日 表彰式実施
受賞者支援開始

関連HP

<https://kyoto-nextaward.kyo.or.jp/>

その他

万博後の取組

今後また次の時代の京都ブランドの新たな担い手を発掘・表彰・支援し、京都のブランド価値向上に取り組む



KYOTO
Next Award
2025

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ これまでオール京都で取り組んできた知恵の集積を活かし、より深化した知恵ビジネスの成長モデルを発信・発掘
- ▶ 京都の特性や、企業独自の強みや知恵を活かして取り組み顧客創造を実現するビジネスプランを募集し、表彰する。令和6年第5回イノベーション部門グランプリ2社、コラボレーション部門優秀賞1グループ、チャレンジ部門グランプリ2社・優秀賞4社。令和7年第6回は募集・審査中
- ▶ 受賞企業には、活動助成金を提供するほか、ビジネスプランの実行・実現に向け、本所経営支援員による重点的な伴走支援を行う。専門家との連携、本所並びに他の支援機関の施策等を活用しながら、各社の成長段階に応じた支援を実施
- ▶ 知恵-1グランプリ応募企業の発掘を目的とし、知恵ビジネスの活用による、新たな顧客創造のヒントを探る「知恵産業の森サロン」(令和6年7月25日、令和7年7月23日)や、企業間での連携や交流の促進による新たな知恵ビジネスの展開を目指す「京都リレーションシップ」(令和6年10月31日、令和7年11月5日)を開催

【実施成果】

- ▶ 令和7年7月7日～13日の関西パビリオンでの京都商工会議所の出展時に、受賞企業1社の出展支援を実施。
- ▶ 万博期間中には、受賞企業5社が関西パビリオンに出展。

実施主体

京都商工会議所

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所 産業振興部 知恵産業推進課

実施場所

京都市内

実施時期

9月～11月

関連HP

<https://www.kyo.or.jp/chie/contest/>

その他

-

万博後の取組

今後も継続して知恵ビジネスに取り組む企業を発掘・育成し、発信に取り組む



実施概要及び成果

【実施概要】

- 若手起業家が協業や出資を呼び掛ける事業プレゼン会「京商イブニングピッチ」を令和6年度は3回・令和7年度はこれまで1回実施し計425名の参加、大企業や中堅企業が自社の課題やニーズをプレゼンしスタートアップ企業との協業を促進する提案型ピッチイベント「Open Innovation Showcase in KYOTO」は令和6年度・7年度に各1回実施し計282名の参加があった。
- 「京商リベースピッチ2025」も新たに開催予定。
- 令和7年7月7日～13日に関西パビリオンに出展し、「京都・知恵アントレ大賞」受賞企業3社、京商イブニングピッチ登壇企業1社の出展支援を行った。

【実施成果】

- 関西パビリオンの出展企業からは、多くの来場者に自社の取り組みを伝えることができたことに対する満足の声が聞かれた。

実施主体

京都商工会議所

【問い合わせ窓口】京都商工会議所

特別プロジェクト推進室

実施場所

京都市
(京都商工会議所会議室 等)



実施時期

通年実施

関連HP

<https://www.kyo.or.jp/kyoto/management/kcap.html>

その他

—

万博後の取組

万博後も継続して協業や社会実装を促進する事業を通じて若手起業家の成長を支援する

京都府下8商工会議所をはじめとした関西商工会議所連合会における 大阪・関西万博に向けた機運醸成の取り組み

産 業

団体・団連
商工会議所

実施概要及び成果

【実施概要】

- 関西商工会議所連合会に加盟する71商工会議所を対象に、会員企業の万博参加に向けた情報提供や万博への機運醸成を推進するワーキンググループ設置。商工会議所間での情報共有を進めるとともに共同事業を実施し、京都商工会議所でも以下の取り組みを行った。
- ・京都商工会議所部会等における万博視察見学会：計13回 ・他地域商工会議所からの視察受入：川越商工会議所
- ・関西周遊NFTスタンプラリーの実施

【実施成果】

- 部会等での万博視察を通じて参加した会員企業からも、訪問したパビリオンの展示内容が印象に残った・学びになったなどの声が聞かれ、最先端の未来社会に触れる機会となった。
- 来場者実績等
- ・京都商工会議所部会等における万博視察見学会：計13回、参加者延べ768名
- ・他地域商工会議所からの視察受入：川越商工会議所
- ・関西周遊NFTスタンプラリーの実施：琵琶湖疏水記念館に設置（協力：京都市上下水道局）

実施主体

関西商工会議所連合会（事務局：大阪商工会議所）

【問い合わせ窓口】

京都商工会議所 特別プロジェクト推進室

実施場所

京都府、関西一円

実施時期

令和5年度～令和7年度

関連HP

<https://www.kansai.cci.or.jp/>

その他

万博後の取組

- ・京都府下8商工会議所の連携強化 ・万博の成果を共有し、連携して事業を推進
- ・関西商工会議所連合会に属する71会議所の会員事業所の事業拡大支援 など



実施概要及び成果

【実施概要】

- 令和6年11月開催の「古典の日朗読コンテスト」会場において万博PRのコーナーを設けポスターの掲示とモニターに大阪・関西万博PR映像（コンセプトとミクミック）を流すとともにチラシ等の入った袋を来場者に配布。また司会から万博のPRアナウンスを実施した。またポッドキャストで配信している源氏物語解説のコンテンツで開幕前から開幕直後の6本に「大阪・関西万博の理念をPRするとともに、「日本の古典がその一助となることを願っています」のコメントを入れ機運醸成に努めた。HPには英文で番組の概要を掲載し日本の古典の発信に努めた。

【実施成果】

- コンテスト来場230名 ポッドキャスト聴取数1万/月

実施主体

京都文化交流コンベンションビューロー
古典の日推進委員会

【問い合わせ窓口】古典の日推進委員会

実施場所

古典の日推進委員会が実施する事業の
会場およびホームページ



実施時期

令和6年秋～万博会期中

関連HP

<https://hellokcb.or.jp/kotennohi>

その他

会場にコンテストの概要説明の英訳版も用意したほか、ホームページも古典朗読のすすめ英語版、古典の日朗読コンテストの案内英語版、ポッドキャストの案内英語版を掲載。

万博後の取組

古典は日本の宝であり世界の宝である。今後も海外発信やインバウンドを意識した発信を意識して事業を進めていく。

京都迎賓館を通じた京都の魅力発信

文化・環境

団体・有識者
京都文化交流
コンベンションビューロー

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都迎賓館は、京都府・京都市・京都商工会議所を中心にオール京都で誘致して建設された国の迎賓施設であり、令和7年で20周年を迎える。建物や調度品には数多くの伝統的技術が活用されており、京都の文化や技術を世界に発信し、ブランド価値の向上に資する貴重な施設であることから、京都迎賓館と連携して、万博を機に京都を訪問する世界各国要人の同館訪問に取り組み、今後の各国首脳の接遇利用につなげ、京都の魅力発信とブランド価値の一層の向上を図る。

【実施成果】

- 万博の国際会議「IPM2025」(1月15日-16日、姫路市)において、各国の代表者等(約160カ国約600名)に京都迎賓館を紹介し、同館や京都の伝統文化等に対する関心が高いことが再確認できるとともに、視察や利用方法等の相談を受けるなど成果があった。また、駐日外交団(大使等13カ国16名)や関西領事団(総領事等19カ国28名)に同館を視察いただき、今後の利用促進を図った。

実施主体

京都府、京都市、京都商工会議所、(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

【問い合わせ窓口】

(公財)京都文化交流コンベンションビューロー

実施場所

京都迎賓館他



実施時期

令和6年8月～令和7年10月

関連HP

<https://helloworld.or.jp/bunka/geihinkan.php>

その他

事業実施に当たって、英語表記資料の活用、通訳者の配置等を行った。

万博後の取組

各国首脳の接遇利用促進に向け、引き続き、京都迎賓館と連携して同館と京都の魅力発信に取り組む。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 京都府内の2か所で公開シンポジウムおよび企画展示を実施した。公開シンポジウム「日本学術会議公開シンポジウム 多世代・多分野交流による環境・SDGs教育会議～環境問題に関心のない人をどのように巻き込んでいくか？～」では、世界に向け多世代・多分野交流による環境・SDGs教育をテーマに2日間にわたって事例共有と対話の場を創出した。企画展示「サテライト地球研から こんにちは一対話が生まれる研究所～」では、環境問題に関する研究プロジェクトの展示のほか、多様なバックグラウンドを持つ研究者が毎日日替わりで滞在し、来場者との直接対話を行った。

【実施成果】

- 公開シンポジウム：参加者 3月7日 80名、3月8日 251名
- 企画展示：来場者約120名 展示を介した、研究者と来場者の近い距離でのコミュニケーションを実現した

実施主体

シンポジウム：日本学術会議環境学委員会環境思想・環境教育分科会
企画展示：総合地球環境学研究所

【問い合わせ窓口】総合地球環境学研究所

実施場所

シンポジウム：京都里山SDGsラボ「ことす」・オンライン配信
企画展示：京都市立芸術大学



実施時期

シンポジウム：令和7年3月7日（金）、8日（土）
企画展示：令和7年3月19日（水）-25日（火）

関連HP

<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/events/detail/263/>
<https://www.chikyu.ac.jp/rihn/events/detail/269/>

その他

シンポジウムにおいて、ネットワークキングランチとして、地元の食材や食文化に触れることのメニューを提供した

万博後の取組

シンポジウム及び企画展示を通して、研究者が多様なステークホルダーと対話を行う経験を得た。令和8年夏に開催予定の国立科学博物館での企画展示「話そう 一人と自然の生きる道」(仮称)での対話活動に活かしていく。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博に「RITE未来の森」(DACを中心としたネガティブエミッション実証プラント)を出展
- ▶ けいはんな万博ウェルビーイングフェスティバルに出展(6月13日・14日、展示・講演の実施)、京都スマートシティエキスポに出展(10月2日・3日、展示・講演の実施、併せてRITE施設の見学ツアーの実施)

【実施成果】

- ▶ 「RITE未来の森」来場者18,610名、アンケートでは96%の来場者が見学ツアーに満足と回答
 - ▶ 「RITE未来の森」について、産学連携(RITE、前田道路株式会社、名古屋大学、九州大学)により来場者に最先端技術をわかりやすく展示・啓発した取組が評価され、第1回 EXPO INNOVATION AWARD(※)において、The Expo Special Recognition Award for Cross-Sectoral Enlightenment(分野横断的啓発賞)を受賞
- ※博覧会国際事務局(BIE)と一般財団法人地球産業文化研究所(GISPRI)が2005年愛・地球博から20周年を記念して、共同で創設。万博における展示等を対象として最も優れた革新的なアイデアを考案、実現し、成果をあげた個人、企業、グループを表彰するもの。

実施主体

(公財)地球環境産業技術研究機構(RITE)

【問い合わせ窓口】RITE 2025年大阪・関西万博室

実施場所

万博会場内(RITE未来の森)ほか

実施時期

令和6年9月～万博会期中

関連HP

<https://www.rite.or.jp/expo2025/>

その他

適宜英語対応

▲ AWARD 表彰式
(令和7年9月7日 IGアリーナ)ガイダンスホール内
(CLT木造建築、
映像による解説)◀ ネガティブエミッション
実証プラント - DAC
(Direct Air Capture)

万博後の取組

- ・ 万博会場における「RITE未来の森」は、技術実証・社会啓発・産学連携の三位一体を体現する展示として高い評価を得た一方、万博テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に沿ったその展示を、一過性で終わらせず、継続的に社会に還元する取組が必要。
- ・ CLT木造建築のガイダンスホールを万博会場からRITE京都本部に移築し、カーボニュートラル技術の社会実装、ネガティブエミッションの実現に向けて、展示・啓発を実施するとともに、万博における技術実証の成果を踏まえた研究開発を継続実施し、地球温暖化問題の解決に貢献する、日本・京都における産業技術を国内外に広く発信する。

(公社) 京都工業会会員企業が有する 展示施設情報等の収集と発信

団体・有価当

(公社) 京都工業会

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 大阪・関西万博では、様々な国や地域から多くの産業視察団をはじめとするビジネスパーソンの参加が期待され、「けいはんな万博」や京都観光にも数多く訪れると見込まれた。そこで、当会会員企業では、様々な目的で、自社の発展プロセスや自社製品の変遷などをショールームや資料館で展示しており、万博を機会に京都のモノづくり企業とのビジネスチャンスが生まれ、また、認知度向上につながるよう、京都工業会の会員企業で見学可能な施設等を一覧できる新たな情報発信を行った。
- 内容 視察（見学）できる内容、所要時間、対応言語、常設・期間限定 など
- 対象 ビジネスパークソンを中心に発信（一部では一般対応も可）
- 発信先 京都市、HP（会員企業、京都工業会）、京都文化交流コンベンションビューロー、旅行会社、DMO など

【実施成果】

- ▶ 会員企業 19 社が参画し情報発信を行った。英語版も作成したことから、内外の方に認知度が向上したと推察される。

実施主体

公益社団法人京都工業会

【問い合わせ窓口】 事務局 電話：075-353-0061

実施場所

参加会員企業 19 社



実施時期

令和7年3月7日から万博開催期間中

関連HP

<https://www.kyokogyo.or.jp/>

その他

会員企業に加え、モノづくり企業に係る府内3か所の代表的施設も併せて紹介した。

万博後の取組

- ① 万博への参加者が引き続いて京都に足を運ばれるかどうかは、時間的な制約が多い中での選択であり、他の訪問先との兼ね合いがあり、必ずしも企業資料館に誘導できたかは不明であるが、旅行者等への周知はできたと考える。
- ② 今回を契機として引き続き情報発信を希望する企業もあり、京都工業会としても企業施設の認知度向上につなげたい。

(3) 基本構想に賛同する企業や団体が実施した取組（認証事業）

EXPO酒場京都店

実施概要及び成果

【実施概要】

- ・①第1回 令和5年11月29日 テーマ「ダイバーシティ&インクルージョン、そして未来へ」開催
- ・②EXPO KYOTO論との共催実施 令和6年4月27日～令和6年9月29日
- ・③EXPO酒場京都店@サイッキョウト開催 令和6年10月25日
- ・④大阪・関西万博、関西パビリオン京都ブース出展 令和7年9月29日～10月5日

【実施成果】

- ①来場人数約100名
- ②8回シリーズの懇親会実施。
- ③約40人参加 大阪・関西万博の開催に伴う京都観光のありかたをテーマにワークショップ実施。
- ④京都伝統産業企業と出展。京都の伝統産業とオープンアクトリの事業者とともに、観光体験の発信を行った。

実施主体

EXPO KYOTO D&I実行委員会

【問い合わせ窓口】 expkyotodi@gmail.com

実施場所

京北コトス他

実施時期

令和5年11月～

関連HP

—

そ の 他

—

万博後の取組

万博の機運醸成、万博を身近に感じることから、未来への課題、提言を訴えることで、様々なプレーヤーと繋がり、連携が図れることに繋がった。大学関係、観光分野、伝統産業などのプレーヤーをプラットフォームで繋げる事ができたことが大きい。課題としては、万博を契機に企画したこの集まりを、万博が終わった後、どのように続けていくのかを考えているところ。



実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせてけいはんな学研都市が強みとするロボット、アバター、ICTの技術をPRする3種類のイベントを実施
- ① アバター(遠隔操縦ロボット)による「アバターチャレンジ2025 市民参加のパレード&運動会」(5月25日 精華大通り)
- ② 夢洲からけいはんなの観光スポットに居るアバターを操作し周遊する「アバター観光」
(4月23日 ヘルスケアパビリオン/平城宮跡、5月1日 関西パビリオン/平城宮跡、8月2,3日関西パビリオン 京都ゾーン/けいはんな記念公園、9月19日 大阪ヘルスケアパビリオン リボンステージ/けいはんな記念公園)
- ③ 五重奏の指揮をするアバター (10月11日 けいはんなプラザ「けいはんな万博 閉会セレモニー」)

【実施成果】

- 来場者実績 ①約3,500名 ② 4月23日 約50名, 5月1日 約200名, 8月2日-3日 約 100名, 9月19日 約100名 ③ 700名
- ① けいはんなを構成する8市町で祭りを共創 ② 夢洲への来場者にけいはんなの魅力を紹介 ③ 指揮の遠隔操作を実証

実施主体

特非 けいはんなアバターチャレンジ

【問い合わせ窓口】 secretariat@avatarchallenge.org

実施場所

- ・ 精華大通り・ けいはんな記念公園・ 平城宮跡
- ・ 関西パビリオン 多目的エリア/京都ゾーン・
- ・ 大阪ヘルスケアパビリオン リボンステージ・ けいはんなプラザ メインホール

実施時期

令和 7 年4月23日, 5月1日, 5月25日, 8月2-3日, 9月19日, 10月11日

関連HP

<https://www.avatarchallenge.org/>
<https://keihannaexpo.org/>

その他

各イベントで通信技術の実証実験を実施

万博後の取組

万博を契機に、8 市町の繋がり・連携を深める市民参加型の祭り「アバターチャレンジ」を毎年開催し、

- (1) 「技術×人間共生の都市モデル」を創出：ロボット・アバター・ICTを日常生活の基盤に。
- (2) 市民参加型エコシステムを確立：リビングラボ、共創会議、地域データ連携基盤を整備。
- (3) 行政・教育・企業の協働による人材育成：技術リテラシーと倫理を併せ持つ市民参加を育成。
- (4) 文化・祭りの継承と再構築：「科学技術と祝祭の融合」を通じた地域アイデンティティを形成。
- (5) ポスト万博国際連携：夢洲で得た知見を世界都市ネットワークへ共有し、けいはんな発の「未来社会プロトタイプ」を発信。



① アバターのパレード

② アバター観光



③ 五重奏の指揮をするアバター

ENJOY COFFEE TIME

実績確認中

【目指す姿】

単なるイベントで終わらせない、イベントを文化へと発展させ、持続性のある活動でまちを活性化する

概要

京都府内のコーヒー店舗を集約してイベントを行なっております。

単なるイベントで終わらせないよう、店舗と店舗の横のつながりを重視し地に根ざした文化として発展させる為、引き続き持続可能なイベントを模索し、まちの活性化を図っていききたいと思っております。

万博を機にSDGsに配慮し、不定期で行なってたコーヒーかすの回収などをより積極的に行なっています。

実施主体

株式会社SEASONS

【問い合わせ窓口】鈴木 075-741-7491

実施場所

京都市内

実施時期

主に春、秋

関連HP

SNSのみ

その他

イベントによっては、外国語対応、宗教や文化の多様性に配慮した食事への対応など実施しております。



万博後の取組

継続的に活動し、目指す姿をかなえていきたいです

地球環境ユースサミット

実施概要及び成果

【実施概要】

- けいはんな万博ユースサミットでは関係者含め150名（うち、学生の数に参加者・メンター含めて67名）が集まり、3日間にわたるサステナビリティに関する議論・プレゼンテーションを行った。
- 万博開催期間中には関西パビリオンや各国パビリオンでユースからの提言やインタビュを実施し、多様なステークホルダーとのコネクションが生まれた。

【実施成果】

- 8月4日-6日のけいはんなでのプログラムに加え、万博開催期間中には関西パビリオンや各国パビリオンでユースからの提言やインタビュを実施し、多様なステークホルダーとのコネクションが生まれた。
- 参加者からの声：・初めての国際プログラムに参加して、不安もあったが楽しく学べた・海外や日本各地からの参加者と交流できたのが特に良かった・国際交流やリーダーシップ経験が自分の成長につながった

実施主体

京都超SDGsコンソーシアム

【問い合わせ窓口】総合地球環境学研究所教育部門

実施場所

けいはんな/大阪関西万博会場

実施時期

令和7年3月～10月（「けいはんな万博ユースサミット」は8月4日～6日）

関連HP

<https://kyoto-youthsubmit.com/news/09/436/>

その他

共通言語は英語、ハラル対応、マイボトル・マイ箸対応

万博後の取組

地球環境ユースサミットは令和5年-7年の3年間開催を予定していたが、8年度も開催する方向で過去の参加者をメンターとして巻き込むと同時に、大阪関西万博会場での取り組みでつながった各国パビリオンにも働きかけを行い、海外からの参加者を増やす（海外からの招へい者がどうしても少なくなることが課題）



ごみゼロ共創ネットワーク

実施概要及び成果

【実施概要】

- ごみゼロイベント（清掃活動）の実施：大阪関西万博に向けたカウントダウンイベントとして、また万博開催期間中にも530の日（ごみゼロの日）などにごみゼロイベントを企画、一般市民から企業までを巻き込んだ清掃活動を実施
- ごみゼロEXPO2025in KYOTOの実施（関連HP参照）
- 大阪関西万博ベストプラクティスデーでごみゼロ共創ネットワークの取り組みを発信

【実施成果】

- これまでの清掃活動、ごみゼロEXPO、ベストプラクティスデーへの視聴参加を累計して1,000名を超える方にごみゼロ共創ネットワークの活動に関わっていただくことができました。ごみゼロアプリの登録者数についてもこの期間中に倍増した。

実施主体

京都超SDGsコンソーシアム

【問い合わせ窓口】総合地球環境学研究所教育部門

実施場所

鴨川、琵琶湖、淀川、南港など

実施時期

令和6年5月～

関連HP

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/6184/>

その他

マイボトル、マイ箸、マイバッグ対応

万博後の取組

2030年SDGs達成、2040年大阪ブルーオーシャンビジョン達成に向けて、上流の廃棄物の発生抑制から清掃活動を含む海域への流出防止までさまざまな取り組みを継続していく。清掃活動については、過酷な夏季のとりくみが停滞したこと、また清掃活動にPOPさや楽しさが足りないという課題認識から、デザインやアーティストを巻き込み、楽しくおしゃれに清掃活動ができる取り組みを強化する



嵯峨嵐山文華館「万博・日本画繚乱」展

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて、かつて万博という場で世界から賞賛を浴びた画家の業績を紹介し、日本美術を啓発
会期：令和7年7月19日～9月28日（展示替え 9月9日）
- 第一会場：福田美術館 第二会場：嵯峨嵐山文華館
嵯峨嵐山文華館では以下の2セクションに分けて絵画を展示
①万博と画家 ②万博への挑戦

【実施成果】

- 来場者実績：5,780人
うち外国人：10%未満
- 8月は小学生無料イベントを実施 参加 123人

実施主体

公益財団法人小倉百人一首文化財団

【問い合わせ窓口】嵯峨嵐山文華館

実施場所

嵯峨嵐山文華館



実施時期

令和7年7月19日～9月28日

関連HP

<https://www.samac.jp/exhibition/detail.php?id=63>

その他

作品解説に英語を併記 作品リストも英語で配布

万博後の取組

- ①福田美術館と連携して「万博」というテーマに挑んだところ、両館を見学してくださるお客様が普段の展覧会よりも増加し、減価償却前企画展損益の赤字額が最も少ないという結果になった。しかしながら、外国人の数は福田美術館と比較するとまだ少ない。②英語によるSNSや動画投稿を強化する等して外国人観光客の誘致、嵯峨嵐山圏内での分散化に努めていきたい。

福田美術館「万博・日本画線乱」展

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博に合わせて、かつて万博という場で世界から賞賛を浴びた画家の業績を紹介し、日本美術を啓発
会期：令和7年7月19日～9月28日（展示替え 9月9日）
- 第一会場：福田美術館 第二会場：嵯峨嵐山文華館
福田美術館では以下の3セクションに分けて絵画を展示
- ①万博と美術 ②万博を連覇した幻の巨匠 ③竹内栖鳳の芸術

【実施成果】

- 来場者実績：11,753人
- うち外国人：2,046人
- 8月は小学生無料イベントを実施 参加 96人

実施主体

公益財団法人福田美術振興財団

【問い合わせ窓口】福田美術館

実施場所

福田美術館



実施時期

令和7年7月19日～9月28日

関連HP

<https://fukuda-art-museum.jp/exhibition/202502084019>

その他

英語での音声ガイドを無料提供 作品解説にも英語を併記 作品リストも英語で提供

万博後の取組

①万博を機に新しいPRビデオを作成するなど外国人誘致に注力したところ、全体の17%を外国人が占め、前回の展覧会よりは向上した。②とはいえ嵐山に来る外国人観光客の数を考えるとまだ少ないため、英語によるSNSや動画投稿を増やす等して取組を強化していきたい。

実施概要及び成果

【実施概要】

- 大学内では学生食堂の廃棄食材をもらい受けて堆肥作りの活動を継続する。
- インカルエキスポ2024(令和6年6月16日)と京都音楽博覧会2025(令和7年10月11日)にブース出展。大学内での循環型環境保護の仕組みや、堆肥作りの効果を発表、また「堆肥くじ」による活動への理解促進、生産堆肥の無料提供などを行った。

【実施成果】

- 両日とも展示ブースには約150人が来場し、他の堆肥生産サークル等との交流が生まれた。

実施主体

学生団体Uni-Com

【問い合わせ窓口】立命館大学衣笠地域連携課

実施場所

インカルエキスポ2024(大阪市)
京都音楽博覧会2025(京都市)



実施時期

令和6年6月16日、令和7年10月11日

関連HP

<https://uni-compost.studio.site/>

その他

—

万博後の取組

- 京都市との連携で「SDGs修学旅行」のモデルコースとして、立命館大学内の他の取り組みと共に堆肥製造を紹介することになった。また梅小路公園に設置されている「コンポストステーション」のミニ版を設置し、作業環境の向上を図る

泉屋博古館 収蔵庫増築および改修工事

実施概要及び成果

【実施概要】

- 当館が所蔵する住友コレクションの未来継承と1970年竣工建物の長期保存による価値向上を目指し改修工事を行った。3月31日竣工、4月26日リニューアルオープン。
- 当館は、1960年に財団設立、1980年に登録博物館となった。1970年大阪万博にあわせ住友グループ各社の迎賓施設として美術館（1号館）が建設され、近年は地域の、この時代を代表する建築のひとつとして評価を得ている。文化財継承に寄与するため収蔵庫を新設。

【実施成果】

- 建築物を含めた施設全体を長く当地に残しながら現代の美術館として活用するため、工事後は、展覧会会期中に建物の見所を紹介する「泉屋八景」を企画、学芸員によるツアーも行った（参加者51名）。好評につき、秋季も継続を決定し、外部の建築イベントにも参加予定。

実施主体

公益財団法人泉屋博古館

【問い合わせ窓口】管理課 田畑 075-771-6411

実施場所

泉屋博古館
(左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24)



実施時期

工事期間：令和6年2月1日～令和7年3月31日

関連HP

<https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

その他

館内サイン・展示パネル類の英文並記

万博後の取組

- ①例年はリピーターが多いが、今回のリニューアルを機に、知っていたが初めて入館した方々や、バリアフリー設備とサービスの充実を評価して来場してくださった来館者のご意見を聞く機会があった。もっと多くの人に知ってもらいたいとの意見も頂戴した。
- ②建物とともに工事で新設した来館者用の設備なども大いに宣伝し、ニーズが異なる様々な方がアクセスしやすい美術館運営に取り組む。

開館65周年リニューアルオープン記念名品展

文化・環境

実施概要及び成果

【実施概要】

- 住友家旧蔵のコレクションを所蔵する当館で、リニューアルオープン記念として絵画・工芸作品の名品展を開催した。過去の国内外の博覧会に関係する作家や作品も公開し、明治・大正期に15代当主住友春翠が果たした地域への文化貢献活動を紹介した。会期中、外部講師と連携してEXPO2025開催記念講演会「博覧会と住友」を実施し、美術とも深く関わる博覧会に触れた。
- また、併設の「中国青銅器の時代」展では、1970年の万国博美術展に出品された中国青銅器も出展したため、夏休み・お盆期間を含めた会期設定とした。

【実施成果】

- 会期中来場者人数：21,076人（内、学生（19歳以上）1,015人、18歳以下438人）。夏休み・お盆期間を含めた会期設定により、例年より家族連れの姿が目立ち、世代を超えて住友コレクションを通じた文化社会貢献活動を広く認知してもらう機会となった。
- 講演会では博覧会の歴史・意義も語られ参加者の好評を得た。

実施主体

公益財団法人泉屋博物館

【問い合わせ窓口】管理課 田畑 075-771-6411

実施場所

泉屋博物館
(左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24)



実施時期

令和7年4月26日～8月17日

関連HP

<https://sen-oku.or.jp/kyoto/>

その他

館内サイン・展示パネル類の英文並記

万博後の取組

- ① 予想より中国からの観光客が多く、日本人観覧者からも英文だけでなく中文での並記の必要性について指摘があった。同様に、家族とともに来館した小学生からは、ふりがなの不足についてたびたび指摘があった。
- ② 過去から継承する活動の意義を定期的に発信し、地域に根ざした活動を基本とするが、より広い範囲の来館者層も意識した取り組みとする。

実施概要及び成果

【実施概要】

- ① 能楽師が指南するレッスンビデオを通して足袋の履き方・扇子の開閉・発声などを学び、実際に能舞台で実践することで「日本伝統文化応援大使」の認定証を授与するプログラム「Know the Spirit of Noh」を実施
- ② 万博に合わせて京都府京田辺市と能の関わりを地元の方に周知する京田辺展示を京田辺市立北部住民センターで開催
パネルおよびポスターによる能の歴史や特徴、一休寺で行われる薪能についての解説の他、扇型ランブシェード、能楽堂ジオラマ模型の展示、一休さんと能のクイズなどを実施。展示期間中はゼミ生が来場者と直接コミュニケーションをとりながら揭示物の解説などを行い、能の魅力や京田辺市との関わりを伝えた。
(3月18日～3月23日 京田辺市立北部住民センター)
- ③ 大学の展示スペースにて、大阪・関西万博出展時の扇および能面等の展示を再現するとともに、万博にて同時に実施したワークショップを再び開催
(7月21日～25日及び27日 同志社女子大学京田辺キャンパス)

【実施成果】

- ① 外国人モニタ調査を実施して改良し、「大阪・関西万博きょうと推進委員会」認定事業として予約受付を開始。
- ② 展示の際、来場者が展示物や能についてより深く知る機会を設けるため、オリジナルのWEBサイトを制作。また、同サイトでは海外の方に向けて多言語翻訳機能を搭載した。
▶ <https://nohtheworld.dwcmedia.jp/expo/>
- 来場者実績(6日間) 90名以上 / アンケート集計結果75件 / 子供から大人まで幅広い年代にご来場いただき、京田辺と能の関係や一休寺について周知する機会を設けた。
- ③ 来場者実績(6日間) 100名以上 / アンケート集計結果96件 / 大学内外の来場者に、実物の展示を行うことで能の魅力を伝え、本取り組みの成果を提示した。

実施主体

能と伝統文化を世界に広める会
(同志社女子大学 関口ゼミ令和6年度 2・3年次生/協力：株式会社くらちく)

実施場所

くらちく能舞台に加え、京田辺市立北部住民センター、
同志社女子大学京田辺キャンパス

実施時期

令和6年4月～令和7年12月

関連HP

http://www.youtube.com/@noh_project
<https://sekiguchiseminar-noh.dwcmedia.jp/kyotanabe2025/>
https://www.instagram.com/dwcld_sekiguchi2025?igsh=MXgxY3NkaGR3aXkzMg%3D%3D77
<https://nohtheworld.dwcmedia.jp/expo/>

万博後の取組

「Know the Spirit of Noh」では、文系産学連携のビジネスモデルを社会に実装を目指して現在もプログラムを継続中であるが、万博を契機に、大学キャンパス内でも万博アーカイブ展示を行い、他学科学生や教職員、オープンキャンパスに来場する高校生や卒業生など幅広い方々に能に関する展示を通じて文化の発信を行うことができた。その結果、能に親しみのない方々に能という文化の魅力や奥深さを伝える機会を得られた。一方で、万博への出展後は世界の人々に向けた発信を十分にできていないため、今後はSNSを活用した世界への文化発信にも継続的に力を入れていきたい。

【問い合わせ窓口】同志社女子大学メディア創造学科 (0774-65-8635)
株式会社くらちく (山内：080-2423-4171)



花山天文台 土日限定 見学ツアー ～昭和初期のモダン建築と太陽観測～

実施概要及び成果

【実施概要】

- 万博開催と併行して花山天文台において土曜日と日曜日の午前午後に関開を実施、また月に一回、土曜の夜に星空観望会を実施。

【実施成果】

- 4月以前に比べて、万博展示（5月5日-10日）後は、見学者の数が、1－2割程度増加し400名弱となった。
- 外国人の参加も見られた。

実施主体

（一財）花山宇宙文化財団

【問い合わせ窓口】 info@kwasan.kyoto

実施場所

京都大学花山天文台



実施時期

令和7年5月以後の土曜日と日曜日（午前10時－16時）

関連HP

<https://kacf.sakura.ne.jp/wp/>

その他

英文ちらしを作成、京都駅の京都市観光協会観光案内所で配布。

万博後の取組

土日公開に加え、京都府主催の学びEXPO2025（9月7日）に講演および出展。宇宙落語会を10月25日に香川県望遠鏡博物館で開催。11月23日には京大で開催予定。

アジアの美を楽しむ ～舞踊と箏曲～

実施概要及び成果

【実施概要】

- ▶ 日本の伝統文化とそれらを支える伝統産業を広く普及啓発・伝承することを目的とし、各分野の材料や技術者の確保の難しさを伝えるため、皆様に本物を鑑賞、体験していただけるよう活動している。今回は万博を機に本格的なカンボジア古典舞踊や日本舞踊・箏曲の公演やワークショップを実施。
- ▶ アジアの伝統衣装や着物を間近で鑑賞し、舞踊や衣裳、伝統産業品の解説もし、理解を深めてもらった。

【実施成果】

- ▶ 来場者75人
- ▶ エキスポ1970のグッズも展示し関西万博2025の広報に繋がった。又、伝統芸能の伝承が難しくなっただけでなく、木や漆など伝統産業品の材料や技術者も不足している事を参加者に体感していただき、「今私たちに出来ること」を考える機会を提供した。

実施主体

KYOTO FUKU

【問い合わせ窓口】 kyotofuku8@gmail.com

実施場所

世界文化遺産 上賀茂神社

実施時期

令和6年11月4日

関連HP

<https://Kyoto-fuku.jimdosite.com>

その他

英語通訳者あり

万博後の取組

伝統産業の各分野の材料や技術者の確保の難しさは国内だけでなく、海外も同じであった。万博後はさらに他国との文化を通じた国際交流を深めていき、伝統文化を未来へつなげていきたい。



地域貢献・住みよい町づくり

実施概要及び成果

【実施概要】

- ①月1回の店周清掃を継続的に実施
- ②年1回の鴨川清掃（地域環境への配慮）
- ③店頭ロビーに北山杉ソファと紹介パネルを設置。地元ブランド「北山杉」を広くPR

【実施成果】

- 「こんな立派な家具があることを知らなかった」「とても座りごちが良く、存在感もあるね」とお客さまから北山杉の素晴らしさを再認識いただけるお言葉が頂戴できた。

実施主体

三井住友信託銀行株式会社
京都支店

実施場所

三井住友信託銀行株式会社
京都支店

実施時期

令和5年12月～

関連HP

<https://branchblog.smtb.jp/kinki/except-osaka/kyoto/>

その他

—

万博後の取組

【実施成果を踏まえて見えてきたことや課題】思いがけない感想や反響があり、地域に根付いた信託銀行としての可能性を再認識した。一方で、地域との接点をさらに深めるための仕組みづくりや、継続的な発信力の強化が課題として浮かび上がっている。

【万博後の取組の方向性】今後も地元への貢献を継続し、地域に愛される存在となることで、地域とともに成長できる企業を目指す。具体的には、地域密着型のサービスやイベントの企画、地域課題解決への参画などを通じて、信頼と共感を積み重ねていく。

【問い合わせ窓口】コンサルティング営業室0120-066-882

